

保証書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お買い上げいただきました製品につきまして、下記のとおり保証をいたします。

記

- 1.保証期間** 納入日から起算して1ヶ年です。
- 2.保証内容** 保証期間中に、本機を構成する部品、材料等に、設計製作上の欠陥があらわれた場合、弊社製品取扱先及びその指定サービス工場で当該部品の取替え、又は、修理を無料でいたします。なお、製品以外の責につきましては保証いたしかねます。
- 3.適用除外** 保証期間内でも、下記の場合には保証いたしません。
 - (1) 使用上、並びに取扱い上の不注意、過失、点検不備によって、故障が生じた場合。
 - (2) 弊社が規定する仕様の限界を越えて使用した場合。
 - (3) 弊社が認めない改造変更が原因となって故障した場合。
 - (4) 弊社純正部品以外の部品使用が原因で故障した場合。
 - (5) 弊社製品の取扱先又は、その指定サービス工場以外で修理され故障した場合。
 - (6) 故障判定資料の不十分なもの、及び損傷部品を紛失された場合。
 - (7) 消耗部品。
 - (8) 保証書の提示がない場合は有償となることがあります。
 - (9) 保証書を紛失した場合は再発行いたしません。
 - (10) 火災・地震・風水害・落雷などの天災ならびに公害・ガス害・塩害・異常電圧・指定外の使用電源（電圧）のご使用および事故によって生じたと認められる損傷および故障。

4.部品の供給年限

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、**製造打ち切り後6年**といたします。ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は、原則的に上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。
※本保証書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid in Japan）

静岡製機株式会社

静岡県袋井市諸井1300

1.お買い上げ製品	(機種名) GB
2.製造番号	
3.年月日	年 月 日
4.組付者氏名	ご購入先
	氏 名

◎製品の修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、
お買い上げの販売店もしくは最寄りの弊社営業所にお申し付けください。

静岡製機株式会社

北海道営業所 〒007-0804 札幌市東区東苗穂4条3丁目4番12号 TEL.(011) 781-2234 FAX.(011) 780-2273
東北営業所 〒989-6136 宮城県大崎市古川穂波3丁目1番14号 TEL.(0229) 23-7210 FAX.(0229) 21-1330
新潟営業所 〒950-0923 新潟県新潟市中央区姥ヶ山1丁目5番30号 TEL.(025) 287-1110 FAX.(025) 257-1197
関東営業所 〒302-0017 茨城県取手市桑原1424-1 TEL.(0297) 73-3530 FAX.(0297) 70-1137
中部営業所 〒437-1121 静岡県袋井市諸井1300 TEL.(0538) 23-1725 FAX.(0538) 23-1726
北陸営業所 〒920-0365 石川県金沢市神野町東52 TEL.(076) 249-6177 FAX.(076) 240-9333
関西営業所 〒661-0032 兵庫県尼崎市武庫之荘東2丁目10-8 TEL.(06) 6432-7890 FAX.(06) 6434-2184
中国営業所 〒700-0975 岡山県岡山市今2丁目8-12 TEL.(086) 244-4123 FAX.(086) 244-9300
九州営業所 〒835-0004 福岡県みやま市瀬高町山門1841-1 TEL.(0944) 88-9793 FAX.(0944) 88-9794
営業部 〒437-1121 静岡県袋井市諸井1300 TEL.(0538) 23-2822 FAX.(0538) 23-2890

11779-204001K

農産物・玄米低温貯蔵庫



GB3001Y GB3001G
GB3003Y GB3003G
GB6001Y GB6001G
GB6003Y GB6003G

取扱説明書

目次

目次	表紙
ご使用の前に	1
機械の型式名のご確認	1
1.まえがき	1
2.安全について	
2.1 警告用語の種類と意味	2
2.2 安全に作業を行うための注意事項	2
2.3 警告表示ラベルについて	3
3.機械の仕様、構成、使用範囲	
3.1 機械の仕様	3
3.1.1 主要諸元	3
3.1.2 機械の据付寸法図	4
3.2 機械の構成	5
3.3 機械の使用範囲	6
4.機械の使用	
4.1 使用上の注意事項	6
4.2 使用方法	7
4.2.1 電源の接続について	7
4.2.2 庫内冷却について	7
4.2.3 庫内温度・庫内湿度の設定と表示について	8
4.2.4 霜取りについて	9
4.2.5 チェックコード表示とエラーコード表示	9
4.2.6 排水について	10
4.2.7 貯蔵品の入れ方について	10
4.2.8 玄米の貯蔵について	10
4.2.9 結露について	11
4.2.10 ドアの密閉について	11
4.2.11 カギについて	12
4.2.12 可倒式中仕切について	12
5.点検と掃除と廃棄	
5.1 点検箇所と方法	12
5.1.1 庫内温度の点検	12
5.1.2 吸込口の点検	12
5.1.3 設置場所室温の点検	12
5.1.4 排水の点検	13
5.1.5 長期間使用しないとき	13
5.1.6 簡易点検について	13
5.2 掃除箇所と方法	13
5.2.1 吸込口の掃除	13
5.2.2 ドアや庫内の掃除	13
5.3 貯蔵庫の廃棄について	13
6.組立要領	
6.1 組立の前に	14
6.2 組立の手順	14
6.2.1 設置スペース	14
6.2.2 組立・設置に必要な工具類	14
6.2.3 梱包部品の確認	15
6.2.4 組立手順	17
6.3 組立後の確認	24
7.困ったときには	25
8.連絡先	26
保証書	表紙

- この取扱説明書をよくお読みの上、機械の取扱いをしてください。
- この取扱説明書は、必要なときにいつでも調べられるように、大切に保管してください。

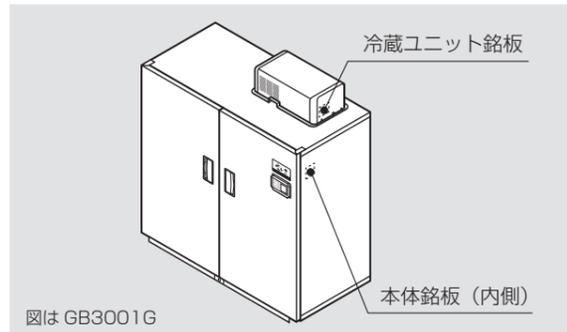
静岡製機株式会社

ご使用の前に

- この機械を使用する前に、この取扱説明書をまっ先に十分お読みください。
その上で、取扱説明書に従って運転操作、保守・点検を行ってください。
- この取扱説明書に記載してある注意事項や機械に表示してある注意事項は、発生しうる全ての危険を予測、想定できているわけではありません。
従って機械の運転、保守・点検および組立を行う場合は、取扱説明書の記載および機械に表示してある事項に限らず、安全対策には十分配慮してください。
- この取扱説明書についてご不明な点がございましたら、購入先または弊社の営業所か、本社営業部（⑨連絡先参照）にお問い合わせください。
- この取扱説明書が必要なときにいつでも調べられるように、大切に保管してください。紛失した場合は、購入先へ注文してください。
- この機械の組立にあたっては、この取扱説明書の（⑥組立要領）の項をよくお読みいただき、内容を十分に理解された上で、安全に注意して組立してください。

機械の型式名のご確認

機械の型式名と製造番号が銘板に記入されています。
ご確認の上、裏表紙の保証書の記入欄に書入ってください。
購入先に点検、修理を依頼したり、部品を注文される時は、この型式名と一緒にご連絡ください。



図は GB3001G

1 まえがき

この章では、取扱説明書の記載内容、機械の使用目的・範囲・構成及び使用電源について説明しています。

1. 取扱説明書の記載内容

この取扱説明書には、機械の取扱安全事項、仕様、運転操作、保守・点検、組立要領の説明が記載されています。

2. 機械の使用目的・使用範囲

この機械は、玄米（農産物）保冷库として設計されています。

保冷できるものについては下記をご参照願います。

保冷できるもの以外は入れないでください。

Gタイプは、玄米以外の物（野菜や果実）を保冷する目的に使用しないでください。

玄米水分で16%以下に乾燥させたものを紙袋に入れて貯蔵してください。玄米を貯蔵する場合は2年間程度が限度です。

この機械では予冷はできません。

Yタイプに野菜、果実などを貯蔵する場合は、種類によって貯蔵温度、貯蔵期間が大きく変わりますので注意が必要です。

お近くの指導機関又は、購入先におたずねください。

野菜類で収穫から出荷までの一時貯蔵に使用する場合は3日間が限度です。

農産物の予冷（急速に冷却する）には、冷却能力が不足することがありますので使用しないでください。

重要

腐食性の物を入れると冷蔵ユニットが故障する場合があります。

参考例

保冷できないものについて（左記以外のもの全て）

保冷できるものについて

GB3000Gシリーズ GB6000Gシリーズ	GB3000Yシリーズ GB6000Yシリーズ
<ul style="list-style-type: none"> ●玄米 	<ul style="list-style-type: none"> ●玄米 ●密封された状態の飲み物
<ul style="list-style-type: none"> ●密封された状態の飲み物 	<ul style="list-style-type: none"> ●野菜・果物類 ※1 <p>（収穫から出荷までの一時貯蔵に使用する場合は3日間が限度）</p>

GB3000Gシリーズ	GB3000Yシリーズ
<ul style="list-style-type: none"> ●野菜・果物類 ●いも類 ●肥料 	<ul style="list-style-type: none"> ●柑橘類 ●薬品 ●腐食性の食物 <p>（食塩、タマゴ、マヨネーズ、漬け物、梅干し、大豆、キノコ類、魚介類、切り干し大根 等）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●いも類 ●肥料 	<ul style="list-style-type: none"> ●柑橘類 ●薬品 ●腐食性の食物 <p>（食塩、タマゴ、マヨネーズ、漬け物、梅干し、大豆、キノコ類、魚介類、切り干し大根 等）</p>

※1：種類によって貯蔵温度、貯蔵期間が大きく変わりますので注意が必要です。水切りした直後の野菜、表面に水分が付着している野菜は保冷出来ません。野菜を入れる場合は、必ず密封容器に入れるか食品用ラップフィルムに包んで密封してから貯蔵してください。

保冷できないものを入れて使用した場合、冷蔵ユニットが故障することがあります。保冷できないものを入れた場合は保証対象外となります。保冷できないものについては保存容器の気密性の優劣に依らず、入れないでください。

不調の様子

調べていただくこと

処置していただくこと

参照

庫内に水滴が落ちてくる

- エルボ付排水パイプは浮き上がっていませんか。
- エルボ付排水パイプ・ホースはしっかり差し込まれていませんか。
- 本体が前後左右に傾いていませんか。
- 排水ホースの先端が上に曲っていませんか。
- 排水ホースの先が丸まっていますか。
- 排水ホースのS字部分が大きすぎませんか。

- パイプサドルでしっかりと固定し、浮き上がりをなくす。
- エルボ付排水パイプ・ホースを接続口にしっかりと差し込む。
- 本体を水平にする。
- 排水ホースの曲がりをなくす。
- 排水ホースの丸まりをなくすか、余っている排水ホースを切断する。
- S字部分の高さを200mm以下にする。

P.13
P.13
P.6
P.10
P.10
P.10

庫内に露がつく

- ADJプラグとADJ断熱シートはしっかり入っていますか。
- ドアが開いていませんか。
- 外気取込ツマミはしっかり入っていますか。

- ADJプラグとADJ断熱シートをしっかりと入れる。
- ドアをしっかりと閉める。
- 外気取込ツマミをしっかりと入れる。

P.24
P.11
P.11

本体の外に露がつく

- 周囲の温度や湿度が高くありませんか。
- ドアの合わせ部に露がついていませんか。
- ADJプラグはしっかり入っていますか。
- ADJ断熱シートは入れてありますか。

- 菜庫の設置してある室内の温度が35℃以上の場合や湿度が高い時は換気をよくするよう工夫する。
- ドアの合わせ部には露がつくことがあります。水の量が多い場合は受け皿（お客様でご用意します）を受けてください。
- ADJプラグをしっかりと入れる。
- ADJ断熱シートを入れる。

P.11
P.11
P.24
P.24

ドアが傾いている

- 床面が柔らかくありませんか。
- 床面が凸凹で本体がひずんでいませんか。

- 床の固い設置場所に変更してください。
- アジャストボルトで調整してください。

P.6、14

異常音が出る

- 保冷库を設置した床は、しっかりしていますか。
- 冷蔵ユニットは確実に固定されていますか。

- 1-1.床面が柔らかい状態であれば、設置場所を変更する。
- 1-2.床が凹まない様に補強する。
- 2.ネジのゆるみを点検し、増締めをする。

P.6、14

蒸発器に霜が付く

- 水気が多く温度が高い物を大量に入れていませんか。

- 1-1.水気が多く温度が高い物を入れない。
- 1-2.電源プラグを抜き、霜がとけてから電源プラグを入れ直す。

P.9

8 連絡先

機械に異常が発生し、原因が不明で適切な処置ができない場合は、購入先または下記の連絡先へ連絡してください。

ご購入先	
住所	
TEL	

7 困ったときには

この章では、機械の様子を調べていただくこと、処置していただくこと、および参照していただくページについて説明しています。

万一不調が起きたときは、まず次のことをお調べください。容易に処置できることがあります。それでもなお調子が悪いときは、購入先、又は、弊社にご連絡ください。

不調の様子	調べていただくこと	処置していただくこと	参 照
<ul style="list-style-type: none"> ●設定温度まで冷えない ●チェックコードC1が表示される(点滅) ●庫内温度が点滅する 	<ol style="list-style-type: none"> 1.直射日光が当たっていませんか。 2.周囲の温度が高くなっていますか。(35℃以下で使用) 3.ドアを頻繁に開けていませんか。 4.凝縮器のファンもしくは吸込み口にほこりがついていませんか。 5.冷蔵ユニットの前後に物が置かれていませんか。 6.庫内に物を詰めすぎていませんか。 7.設定温度は希望の温度に設定してありますか。 8.ドアにすき間がありませんか。 9.ドアが少し開いていませんか。 10.凝縮器のファンは動いていますか。(圧縮機と同時運転) 11.熱いものを入れていませんか。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.直射日光を防ぐ。 2.風通しを良くするように工夫する。 3.ドアの開閉回数を減らす。 4.ホコリの確認をし、ホコリがあれば掃除をする。 5.物を取り除く。 6.庫内の物を少なくする。 7.設定温度が違っていれば再設定する。庫内温度は設定温度に対して上下2℃の範囲で制御します。 8.ドアのすき間をなくす。 9.ドアを確実に閉める。 10.購入先にご連絡ください。 11.熱いものは、冷めてから入れる。 	<p>P.6</p> <p>P.6</p> <p>P.12</p> <p>P.12</p> <p>P.10</p> <p>P.8</p> <p>P.9</p> <p>P.23</p> <p>P.6</p>
エラーコードE3～E9が表示される(点滅)	1. 部品の故障です。	1. 購入先にご連絡ください。	P.9
庫内がまったく冷えない	1. 電源が入っていますか。	1. 電源プラグを確認する。	P.7
冷蔵ユニットがすぐ止まる。(冷えない)	1. 風向板の取り付けは正しいですか(冷気の吹き出し口と戻り口がありますか)。	1. 風向板の取り付けを確認する。	P.7 P.21
設定温度以下を表示する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 外気温度が設定温度以下になっていませんか 2. 庫内に物を詰めすぎていませんか。 3. 庫内の冷気循環路は確保されていますか。 4. 運転開始直後ですか。 5. 設定温度は希望の温度に設定してありますか。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 加温機能はありませんのでそのままご使用ください。 2. 庫内の物を少なくする。 3. 冷気循環路を確保する。 4. 運転開始直後は、庫内温度が不安定のため設定温度以下を表示することがあります。庫内温度が安定するまでに数日間かかります。 5. 設定温度が違っていれば再設定する。 	<p>P.6</p> <p>P.10</p> <p>P.6</p> <p>P.7</p> <p>P.6</p> <p>P.8、9</p>

3.機械の構成

この機械は、本体と冷蔵ユニット、すのこで一式になっています。

4.使用電源

この機械の使用電源は、**単相100V**または**三相200V**です。インバーター電源等は使用できません。必ず、商用電源を使用してください。単相100Vの時、電源電圧は90～110Vの範囲でご使用になれます。三相200Vの時、電源電圧は180～220Vの範囲でご使用になれます。

2 安全について

この機械を取扱う前に必ずお読みください。この章では、警告用語の種類と意味、機械の取扱全般についての注意事項及び警告表示ラベルについて説明しています。

2.1.警告用語の種類と意味

取扱説明書の警告内容、及び機械本体に貼付してある警告ラベルは、危険の度合いに従って次の2段階に分けています。この警告用語の意味を理解していただき、取扱説明書の内容に従って、運転操作、保守・点検、組立を行ってください。

危険等を喚起する表示・標識の種類	喚起する内容
	「警告」の文字の下に書かれている事柄は、その内容を守らないと、 死亡又は重傷事故 につながることもあり、 十分ご注意ください 内容です。
	「注意」の文字の下に書かれている事柄は、その内容を守らないと、 ケガなどの事故 につながることもあり、 ご注意ください 内容です。

この機械の取扱全般について、特に留意していただきたい事項は、この取扱説明書の中で下記のように書いて、左の警告事項とは区別しています。

重要	この機械の取扱全般について、特に留意していただきたい事項について示しています。
注意	一般的な留意事項

! 注意

- この機械の運転操作、保守・点検は必ずこの取扱説明書に従って行ってください。
- 取扱説明書の内容で不明な点がありましたら、購入先または、(8.連絡先)にお問合せ、確認してから作業を始めてください。

2.2.安全に作業を行うための注意事項

安全に作業を行うために次の注意事項を守ってください。

1.作業者の服装と健康

- 作業に適した服装と靴で作業してください。
- 過労や病気、酒気おびの状態で作業しないでください。
- 米袋の積み降ろし時などに、腰をいためないようにしてください。また、台の上に乗っての積み降ろし作業などはしないでください。台から落下してケガをすることがあります。
- 頭や足などをぶつけないよう、注意して作業をしてください。

2.作業場の整備

- この機械は屋内設置用として設計・製作されていますので、屋根のある風通しの良い場所に設置してください。
- 設置場所は平らな所で、**ひずみのないしっかりした床面**を選んでください。土間や板の間などの床面が柔らかい場所には設置しないでください。
- 直射日光が本体に当たらないようにしてください。
- 機械の回りにスペースを確保してください。
- 換気の悪い場所に設置しないでください。万一冷媒が漏れると、酸素欠乏の恐れがあります。

3.電源配線とアース

- 機械の電源は、感電事故防止のために、**漏電ブレーカがあるコンセントから配線**してください。
- 延長コードは電圧降下を防止するために**2mm²以上の太さで、10m未満の長さ**にしてください。
- 他の機械とのたこ足配線は、絶対にしないでください。
- 感電事故防止や機械の誤動作防止のため、アース線の接続をしてください。

重要 上記の配線になっていない場合は、購入先か電気工事店にご相談ください。

4.使用中の安全

- カギを掛けてください。子供が庫内に入ってドアを閉めた場合、子供の力では開かないことがあります。
- ドアは取手を持って閉めてください。ドアに指などをはさんでケガをすることがあります。
- 本体や冷蔵ユニットの上に乗ったり、物を置いたりしないでください。転落したり、物が落下して、ケガをすることがあります。また、機械が変形することがあります。
- 冷蔵ユニットの前、後にものを置かないでください。冷却がうまくできない場合があります。

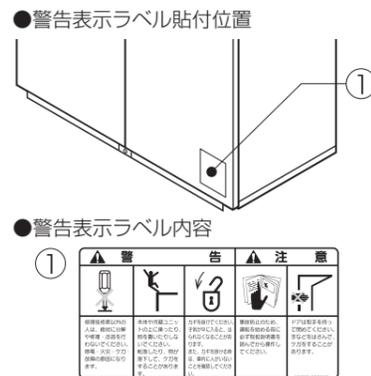
5.掃除・点検・整備の時の安全

- 各部の掃除、点検をする場合は、必ず元電源を切ってから行ってください。
- 電源コードは電源プラグを持って抜き差ししてください。また、ぬれた手で抜き差ししないでください。
- 修理技術者以外の方は、絶対に分解や修理、改造を行わないでください。感電・火災・ケガ・故障の原因になります。

2.3.警告表示ラベルについて

機械の特に注意を要する取扱について記した警告表示ラベルが貼ってあります。これらの内容をよく確認し、守って安全作業を行ってください。

標識	名 称	貼付位置	品 番
警告	本体警告・注意ラベル	ドア右下	10762-200012
注意			



3 機械の仕様、構成、使用範囲

この章では、機械の主な仕様、構成、使用範囲について説明しています。

3.1.機械の仕様

3.1.1.主要諸元

機械の主な仕様は次の通りです。

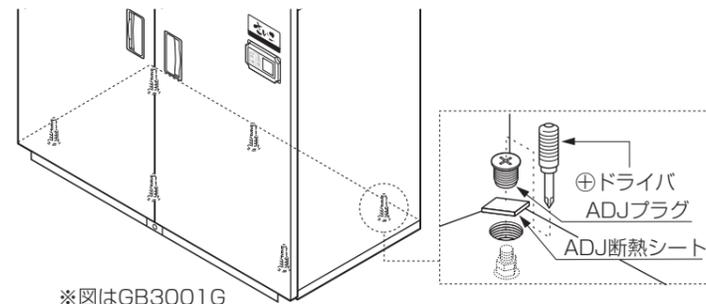
名 称		農産物低温貯蔵庫			
型 式		GB3001Y	GB3003Y	GB6001Y	GB6003Y
寸 法	外寸(奥行×幅×全高mm)	985×2040×2375		1840×2040×2375	
	本体(奥行×幅×全高mm)	974×2040×2025		1829×2040×2025	
	内寸(奥行×幅×全高mm)	855×1920×1810		1710×1920×1810	
有 効 容 積 (ℓ)		2806		5613	
貯 蔵 量	玄 米 袋 (30kg)	54袋		108袋	
	農 業 用 コ ン テ ナ (個)	30個		60個	
製 品 質 量 (kg)		209	211	300	302
電 源 電 圧 ・ 電 源 周 波 数		単相100V・50/60Hz	三相200V・50/60Hz	単相100V・50/60Hz	三相200V・50/60Hz
消 費 電 力 (W50/60Hz)		430/515	400/460	430/515	400/460
冷 媒		HFC-134a			
制 御 温 度 (℃)		2~20			
使 用 周 囲 温 度 (℃)		2~35			
使 用 周 囲 湿 度 (%RH)		40~85			
付 属 品		すのこ・排水ホース			

※玄米30kg (高さ160±10×幅375±20奥行620±20mm)
 ※農業用コンテナの目安 (高さ310×幅520×奥行370mm)

電源コード長さ：5m

⑩ ADJプラグ・すのこの組付け・型式製番シールの貼付け

- ADJ断熱シートを庫内アジャストボルトに当たるまで詰め込みます。
- ADJプラグを、⊕ドライバ (大) でねじ込みます。
(庫内床面と同一面になるまでねじ込みます。)



重要

- ADJプラグを入れ忘れると庫内が結露します。
- ADJ断熱シートの真ん中を押しながら、ゆっくり詰め込んでください。
- ADJ断熱シートを入れないと、ADJプラグが結露することがあります。

- すのこを床パネルに設置します。
3001・3003タイプ~2枚/6001・6003タイプ~4枚
- 本体の内側に適用型式の型式製番シール (現地貼付用) を貼付けます。
- 貼付方法は、ラベルに同梱の説明書をご参照ください。

⑪ 試運転

- 電源コンセントにプラグを差し込みます。(操作盤に庫内温度が表示されます。)
- 冷蔵ユニットが動き出します。庫内に入り、風向板から風が吹き出していればOKです。
(ただし、設定温度は外気温度以下にしてください。)

注意

- 三相電源の場合、温度表示が出なくて全く動かない時は、電源の相が逆です。
※電源プラグの三相の内、二相を入れ替えてください。(赤、黒線)
元電源を抜いてから作業を行なうこと。
アース線(緑色)は絶対に入れ替えないこと。

6.3.組立後の確認

組立後の確認を行ってください。チェックリストの内容が全てOKとなるようにしてください。

項 目	確認チェック事項	チエック	対 応
1.据 付	●本体は傾いていないか ●ドアにスキ間がないか		●P17、23を参照する ●P23を参照する
2.組 立	●本体の回りにスペースはあるか ●直射日光はあたらないか ●換気はよいか (35℃以下) ●パネルの合わせ目にすき間はないか ●排水ホースはしっかり接続されているか ●エルボ付排水パイプの浮き上がりはないか (Yタイプ)		●6.2.1.設置スペースの項目を参照する ●日光が当たっていれば、日除けをする ●窓を開けてください ●P19、20を参照する ●P22を参照する ●P22を参照する
3.ネジ部分の 締付け	●ボルト、金具は締付けたか ●仮止め箇所はないか		●締め付ける (コーチスクリューは締めすぎると空) (回りをするので注意してください)
4.ラベル	●警告・注意などの警告表示ラベルの汚損はないか		●取り替えてください
5.漏電ブレーカ	●付いているか		●付いていない場合は顧客先依頼事項とする
6.電源コード	●延長コードを使う場合は太さ2mm ² 以上あるか、長さ10m未満か		●太さ2mm ² 未満は取替えをし10m以上は電気工事店へ依頼する
7.電源を入れる	●温度表示が出るか確認する ●冷蔵運転開始・庫内に冷却空気が出ていることを確認する (設定温度は外気温度以下)		●P24を参照する ●運転操作はP8、9を参照する

⑨ アジャストボルト・ローラーの調整

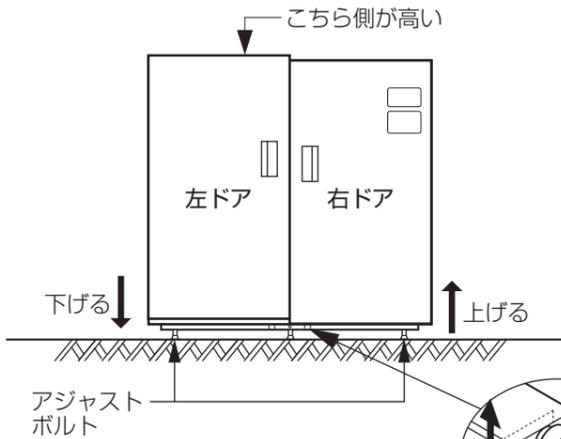
前方調整 (ドアの調整が必要無い場合は読み飛ばしてください。)

● ドアを組み付けた後、ドアに段差があるときは一番手前側のアジャストボルトで調整します。

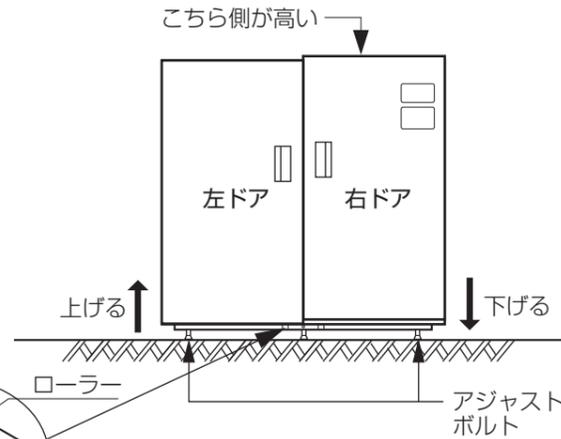
- 重要** 1. スパナ24mmとボックスレンチ10mmでアジャストボルトを調整します。
2. 水平はドアに歪みがないようにドアを開閉しながら調整してください。

● 上記対応でも調整できない場合、低いドア側の下側にある、床パネルのローラーを上げてください。

● 向って左ドアが高いとき



● 向って右ドアが高いとき

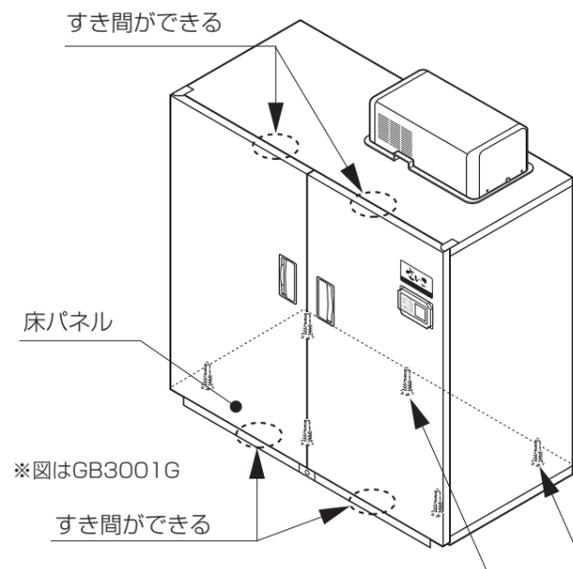


六角ボルトM6~2本をゆるめて、上げる

後方調整 (庫内)(ドアの調整が必要無い場合は読み飛ばしてください。)

● ドアを組み付けた後、ドアと本体にすき間があるときはアジャストボルトで調整します。

3001・3003タイプは、床パネルの後側左右のアジャストボルト、6001・6003タイプは、床パネル(前)の後側左右のアジャストボルトを調整します。



すき間の位置と調整

	すき間の位置	本体の調整方法
1	右ドア中央部の上側が空くとき	右後側を下げる 左後側を上げる
2	右ドア中央部の下側が空くとき	右後側を上げる 左後側を下げる
3	左ドア中央部の上側が空くとき	左後側を下げる 右後側を上げる
4	左ドア中央部の下側が空くとき	左後側を上げる 右後側を下げる

※図はGB3001G

後側のアジャストボルトで調整する

● 調整後、その他のアジャストボルトを床面に当たるまで動かします。

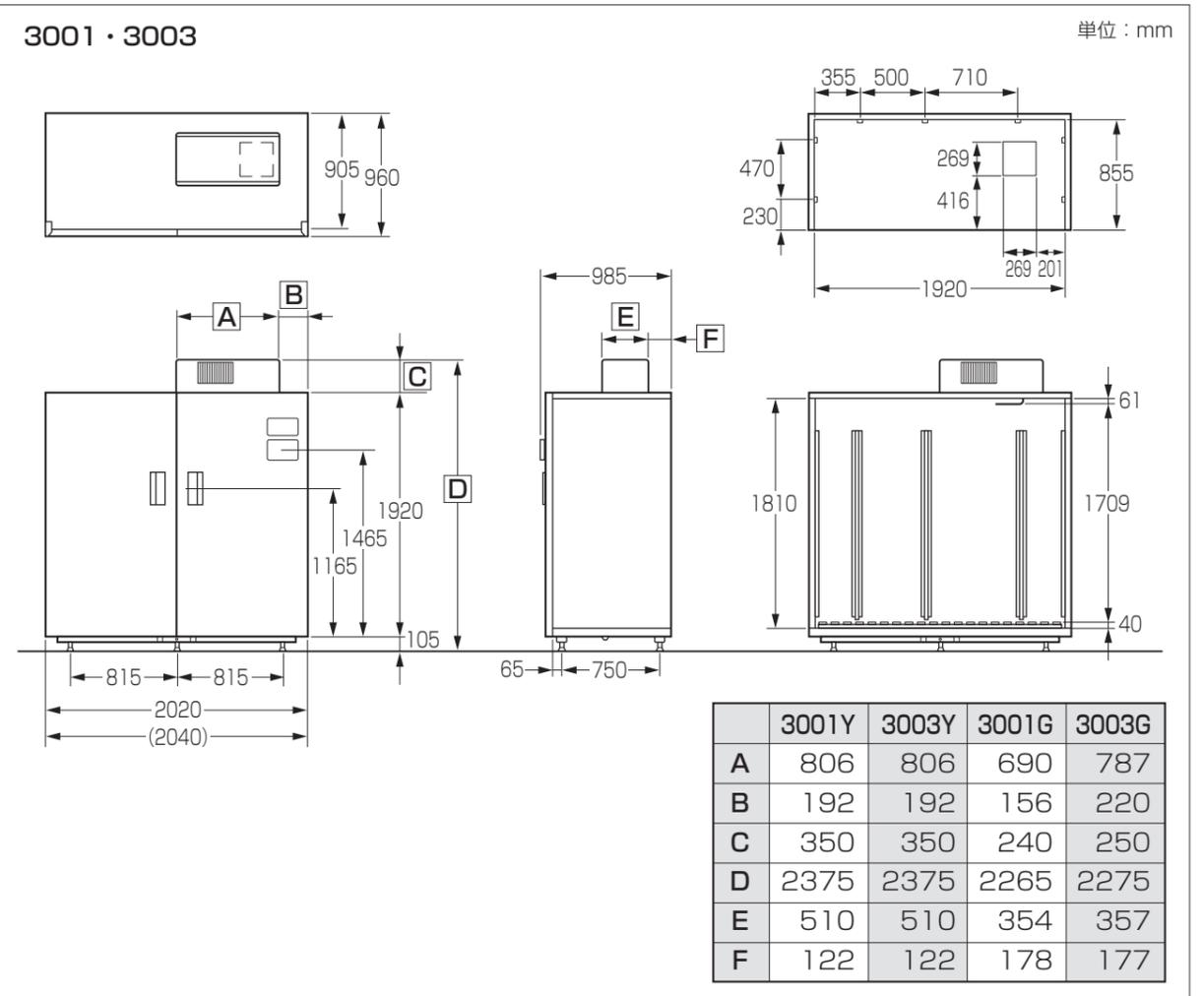
● GB6001・6003タイプは、床パネル(前)と床パネル(後)に段差が出ないように床パネル(後)のアジャストボルトを調整してください。

名 称		玄米低温貯蔵庫			
型 式		GB3001G	GB3003G	GB6001G	GB6003G
寸 法	外寸(奥行×幅×全高mm)	985×2040×2265	985×2040×2275	1840×2040×2265	1840×2040×2275
	本体(奥行×幅×全高mm)	974×2040×2025		1829×2040×2025	
	内寸(奥行×幅×全高mm)	855×1920×1810		1710×1920×1810	
有 効 容 積 (ℓ)		2806		5613	
貯 蔵 量 (玄米袋) (30kg)		54袋		108袋	
製 品 質 量 (kg)		190	202	281	293
電 源 電 圧 ・ 電 源 周 波 数		単相100V・50/60Hz	三相200V・50/60Hz	単相100V・50/60Hz	三相200V・50/60Hz
消 費 電 力 (W50/60Hz)		320/350	400/430	320/350	400/430
冷 媒		HFC-134a			
制 御 温 度 (°C)		9~20			
使 用 周 囲 温 度 (°C)		9~35			
使 用 周 囲 湿 度 (%RH)		40~85			
付 属 品		すのこ・排水ホース			

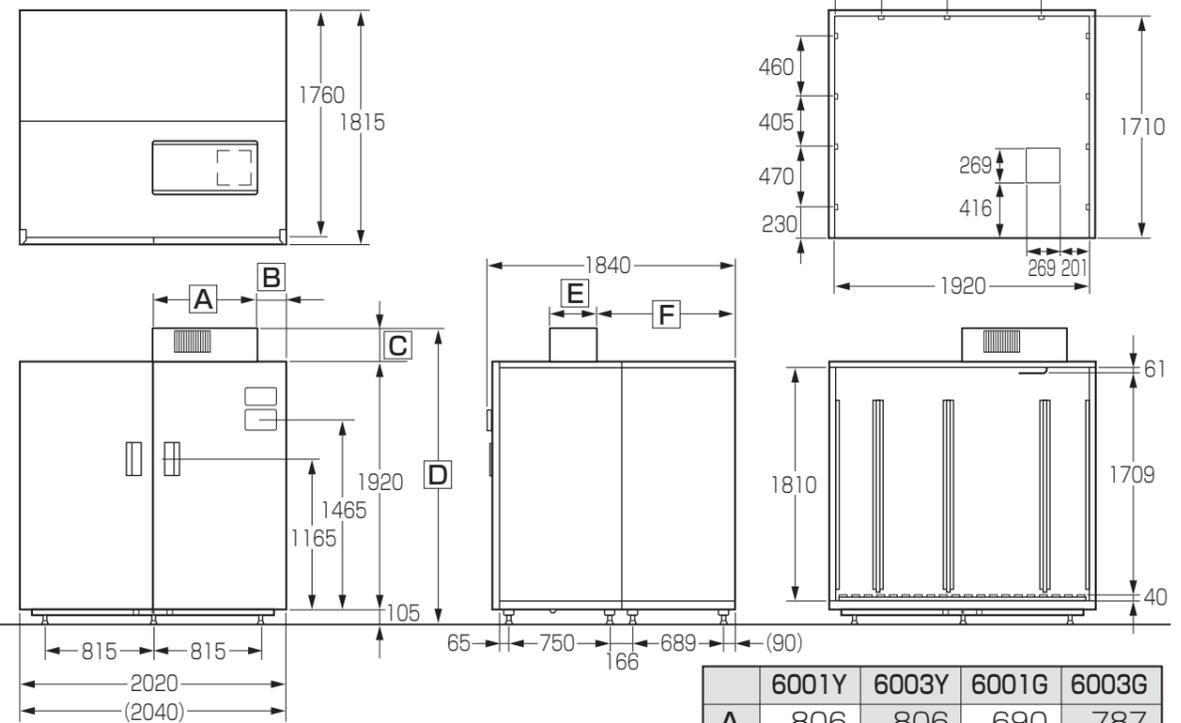
※玄米30kg (高さ160±10×幅375±20奥行620±20mm)
※農業用コンテナの目安 (高さ310×幅520×奥行370mm)

3.1.2.機械の据付寸法図

機械の主な据付寸法は次の通りです。



6001・6003

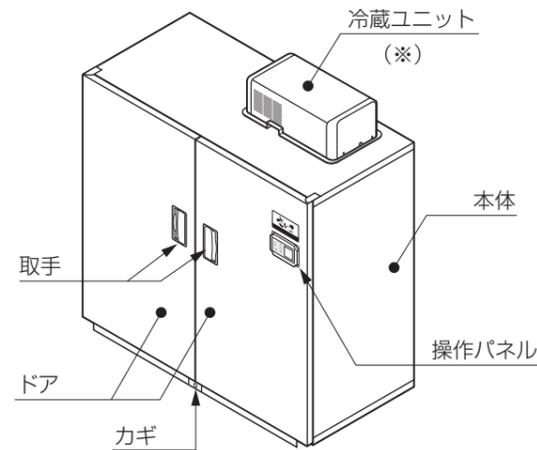


	6001Y	6003Y	6001G	6003G
A	806	806	690	787
B	192	192	156	220
C	350	350	240	250
D	2375	2375	2265	2275
E	510	510	354	178
F	982	982	1033	1031

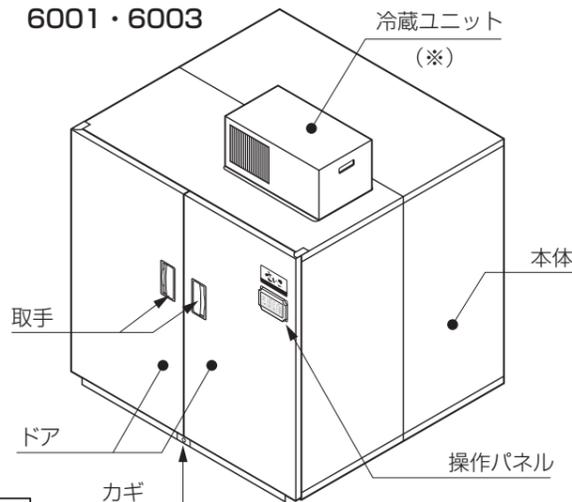
3.2.機械の構成

機械の構成を次に示します。

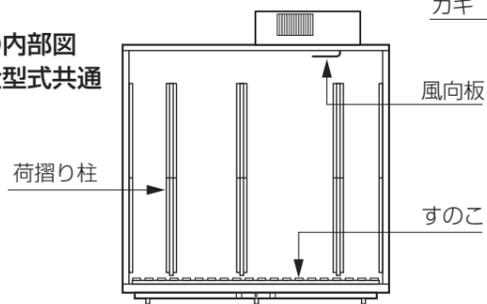
3001・3003



6001・6003



●内部図
全型式共通



※コーナー部分にRが付く冷蔵ユニットの形状は、3001G、6001Gのみです。他の型式は、Rが付きません。

⑦エルボ付排水パイプと排水ホースの組付 Yタイプ

●エルボ排水パイプを冷蔵ユニットの排水ドレンパイプにしっかり差し込み、パイプサドルで固定します。

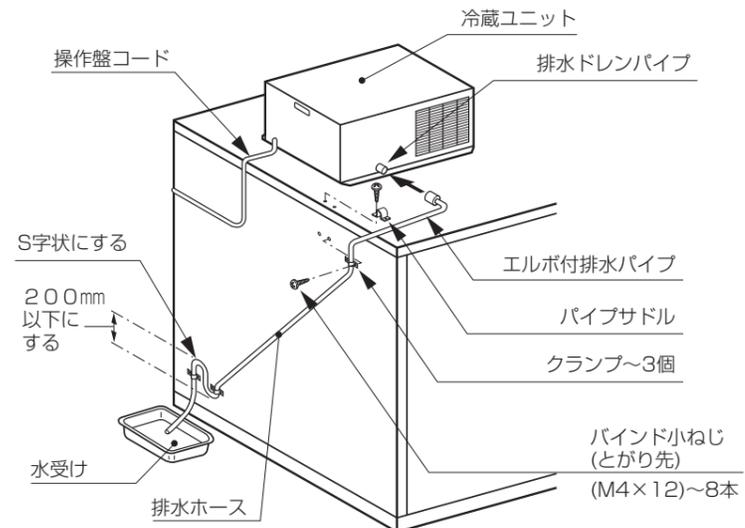
注意

- エルボ付排水パイプは根元までしっかり差し込んでください。
- エルボ付排水パイプを差し込むとき、排水ドレンパイプに無理な力がかからないようにしてください。

- エルボ排水パイプに排水ホースを差し込み、クランプで固定します。
- 排水ホースの先端はS字状になるようにする。S字の高さは200mm以下にします。
- 排水ホースが余るときは、排水ホースの先端を切るなどして、使いやすい長さにします。
- 水受けを置きます。

重要

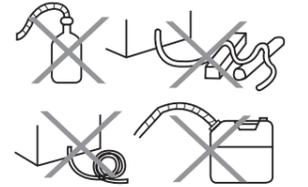
●排水方向は正面から見て右横方向のみです。他の方向には排水を出さないでください。



重要

●排水ホースの先端を丸めたり、持ち上げたりしないでください。

●やってはいけない例



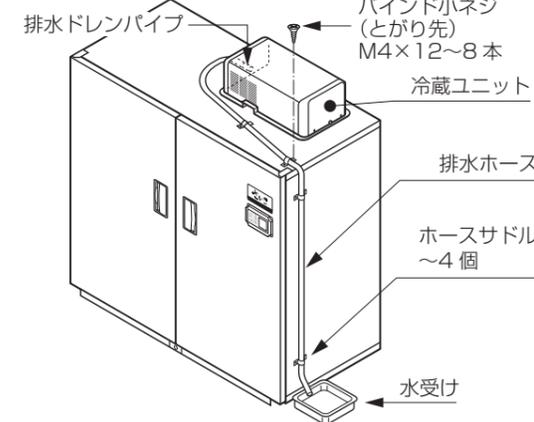
重要

- エルボ付排水パイプが浮いていないことを確認してください。
- 玄米低温貯蔵庫が前後左右に傾いていますと、庫内に水滴が落ちてくる可能性があります。

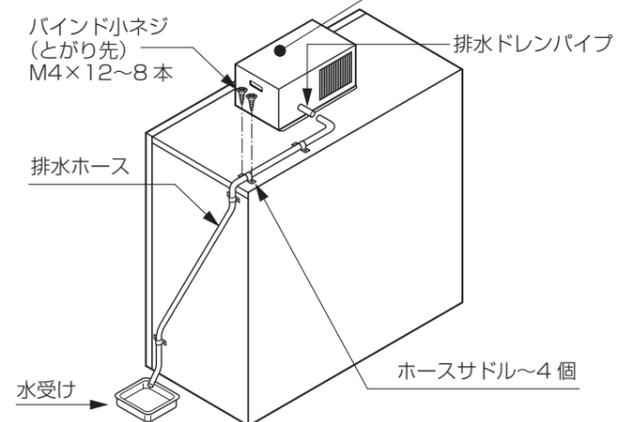
⑧排水ホースの組付 Gタイプ

- 排水ホースを冷蔵ユニットの排水ドレンパイプに差し込みます。排水ホースをホースサドルで本体に固定します。
- 排水ホースの先端は、直線にしてください。(S字にはしません。)
- 水受けを置きます。

GB3001G



GB3003G



重要

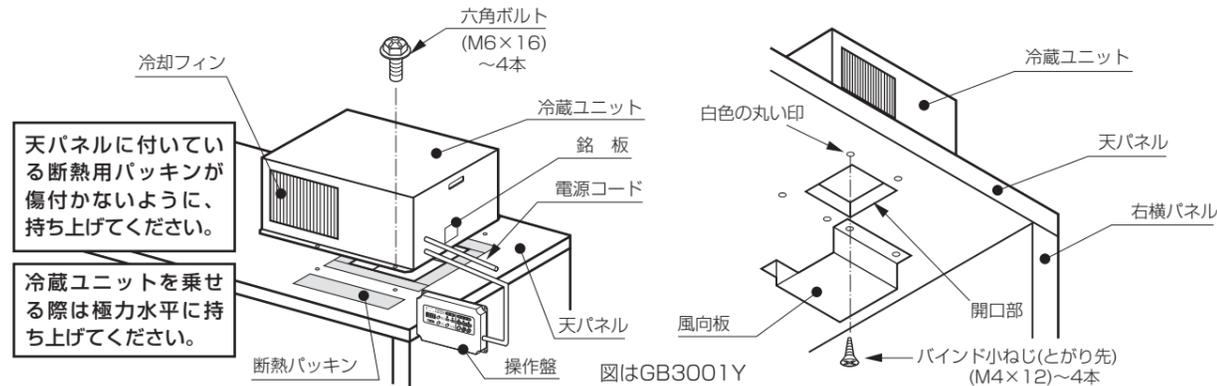
●排水ホースは浮き上がらないように固定してください。

⑤冷蔵ユニットの組付

- 天パネルに冷蔵ユニットを組み付けます。
 - 天パネルの内側に風向板を組み付けます。
- この時、天パネルの開口部に冷蔵ユニットの吹出口があることを確認してください。

注意 冷蔵ユニットの銘板に、ユニット型式の記載があります。確認してください。

適用機種	ユニット型式	電源	備考
GB3001Y GB6001Y	CR-415SS	100V 単相	玄米・野菜共用
GB3003Y GB6003Y	CR-415TS	200V 三相	玄米・野菜共用
GB3001G GB6001G	CR-255SS	100V 単相	玄米専用
GB3003G GB6003G	CR-315TS	200V 三相	玄米専用



重要

- ダンボール箱から冷蔵ユニットを取り出す時、冷却フィンに手を触れないでください。フィンが曲がります。
- 冷却フィンの前に貼ってある保護用ダンボールは、冷蔵ユニットを本体に固定してから外してください。
- 冷蔵ユニット底面の発泡スチロール、パッキンは取外さないでください。
- 冷蔵ユニットを乗せる連携作業は、足元を確認した上で、声を掛け合って行ってください。
- 冷蔵ユニットを乗せる時、電源コードや操作盤を傷めないようにしてください。
- 天パネルに付いている、断熱用パッキンを傷付けないでください。

⑥操作盤の組付と配線

- 右ドアパネルに操作盤を組み付けます。
- 操作盤コードをコードクランプで固定します。(固定箇所にはφ2.7の穴があります。)
- 右横パネル、手前側のコードクランプのみ、コードのテープの位置に合わせます。(コードを少したるませるようにします。)

GB3001G・6001G・3001Y・6001Y

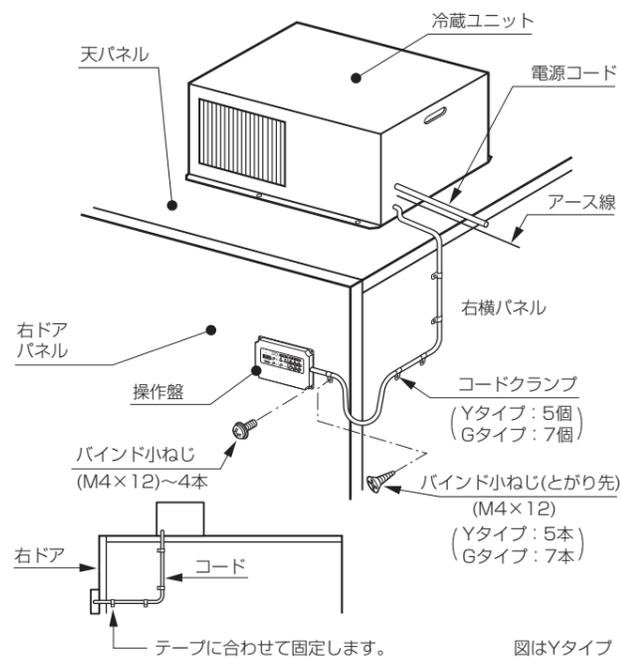
- アース線を冷蔵ユニットに接続します。(冷蔵ユニットに付いている専用ネジを利用します。)
- アース線は忘れずに接続してください。

GB3003G・6003G・3003Y・6003Y

- アース線は付属されていません。
- アース線は忘れずに電源プラグのアースに接続してください。

注意

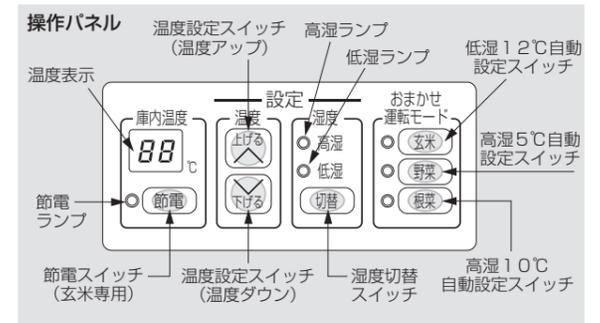
- アース線はガス管や水道管、電話や避雷針のアースには絶対に接続しないでください。



3.3.機械の使用範囲

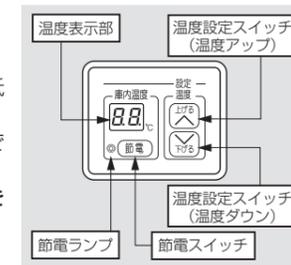
Yタイプ

- この機械は玄米、野菜などの保冷庫として使用できます。保冷とは、玄米、野菜などの温度が上がらないように低温に維持することをいいます。
- この機械は予冷用としては使用できません。予冷とは、急速に短時間で野菜や果物などの温度を下げることをいいます。この機械の冷却能力では、希望の時間内で野菜などの温度が下がらないことがあります。簡易的に使用する場合は、あらかじめ試験を行なうなどして能力を確認した上で、ご利用ください。
- 野菜や果物を貯蔵するときは、その野菜や果物の貯蔵温度・貯蔵湿度・貯蔵期間をよく確認してから貯蔵してください。
- 野菜類で収穫から出荷までの一時貯蔵に使用する場合は3日間が限度です。



Gタイプ

- この機械は玄米保冷庫として使用できます。保冷とは、玄米の温度が上がらないように低温に維持することをいいます。
- この機械は、野菜類の保冷用としては使用できません。
- 玄米以外のもの(野菜、いも類や果物など)を保冷する目的に使わないでください。
- この機械の設定温度は9℃~20℃です。



共通

- この機械には加温機能がありません。設定温度以下に外気温度が下がると庫内の温度も外気温度に応じて下がります。ただし、本体の断熱性により、庫内表示温度と外気温度には、時間的なズレがあり、必ずしも同じ温度を表示するわけではありません。
- 設置場所をかえる場合は、内部の貯蔵物を出してから移動してください。

4 機械の使用

この章では、機械の使用上の注意事項と使用方法について説明しています。

4.1.使用上の注意事項

この機械は屋内用に設計・製造されていますので、次の注意事項をお守りください。

注意事項

- 1.設置
 - 1.雨や直射日光が当たらない所。
 - 2.風通しが良く、湿気の少ない所。
 - 3.床面がしっかりした、平らな所。
- 4.本体の回りに保守スペースが取れる所。
- 5.貯蔵庫の近くには、肥料など金属を腐食させるものを置かないでください。
- 6.ドアには上から力を加えないでください。

注意事項が守れなかった場合の不具合

- 1.ショート・感電したりサビが発生することがあります。また、寿命が短くなったり、庫内の温度が上昇することがあります。
- 2.機械の周囲が湿り、本体外壁に水滴がつくことがあります。
- 3.振動音の発生や、ドアの密閉が悪くなり、冷気が漏れることがあります。貯蔵物の重量で床が変形し、ドアにすきまが出る場合があります。本体の水平がくずれて、庫内に水滴が落ちてくる場合があります。
- 4.冷蔵ユニットは点検と掃除が必要です。これを怠ると冷蔵ユニットの寿命が短くなります。
- 5.冷蔵ユニットの内部が腐食したり、鋼板が錆びることがあります。
- 6.鍵がかからなくなります。本体とマグネットパッキンの間にすきまができ庫内が結露したり、冷気が漏れることがあります。

2.貯蔵

- 1.米を貯蔵する場合は、水分を16%以下にまで乾燥して、紙袋で貯蔵してください。(長期貯蔵は15%以下が良い。)
- 2.粉摺り、精米などを行う場合は、取り出して外気温度と同じにしてから行ってください。
- 3.熱いものは外気温度と同じにしてから入れてください。
- 4.庫内の壁に密着して物を入れないでください。
- 5.ドアの開閉回数を少なくしてください。

- 1.玄米水分が高すぎるとたとえ低温でもカビが発生したり、玄米が固まったりすることがあります。また、袋に入れずに裸で貯蔵すると乾燥します。
- 2.粉、または、玄米の表面に水滴がつき、玄米が割れたり、精米後、白米の表面がひび割れることがあります。
- 3.熱いものを冷やすのに時間がかかりますし、電気代もかかります。
- 4.冷気が循環できなくて、冷えない場所ができてしまいます。また壁に密着しているところは湿ります。
- 5.1日に何回もドアを開閉すると、庫内の温度が上がります。庫内温度が上がると、玄米水分が上がったりカビが発生したりすることがあります。ドアの開閉は20秒以内で、1日5回以下にしてください。
- 6.冷蔵ユニット内部が腐食したり、鋼板が錆びることがあります。
- 7.ドアが少し開いた状態になり、庫内に水滴が落ちてきたり、天パネルに水滴がたまる場合があります。

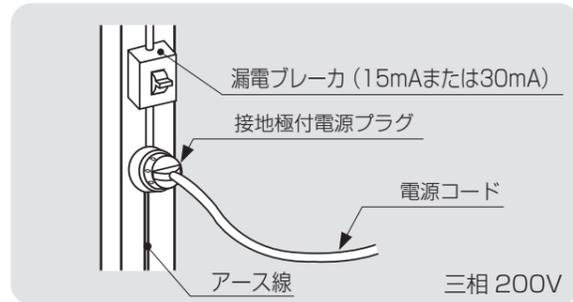
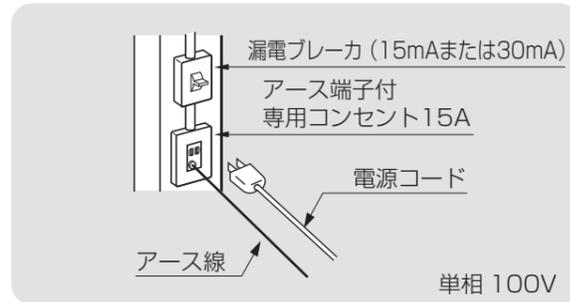
3.掃除

- 1.冷蔵ユニットの吸込口は定期的に掃除をしてきれいにしてください。

- 1.ホコリが付着して熱交換が不十分だと、電気代が増えます。また冷蔵ユニットの寿命が短くなります。

4.2.使用方法

4.2.1.電源の接続について



電源コンセントにプラグを差し込むと庫内温度が表示され、冷蔵運転を開始します。

(冷蔵運転の開始は、庫内温度が設定温度より高い場合に限りです。)

電源プラグを抜いて運転を停止したときは、冷蔵ユニットの故障防止や電源のトラブル防止のため、5分間以上停止したままにしてください。

注意

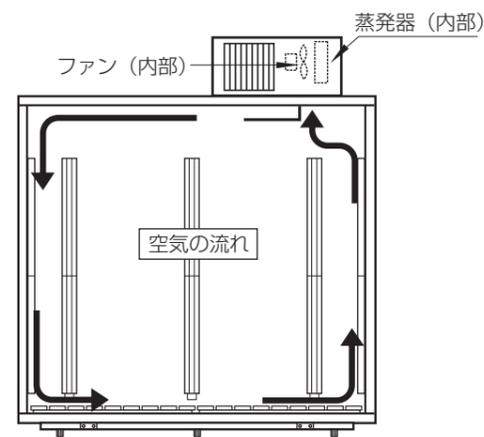
- 三相電源の場合、温度表示が出なくて全く動かない時は、電源の相が逆です。
電源プラグの三相の内、二相を入れ替えてください。(赤、黒線)元電源を抜いてから作業を行なってください。
アース線(緑色)は絶対に入れ替えしないでください。

重要

- 1.15A以上の専用コンセントを設けて単独で使用してください。
- 2.安全のため漏電ブレーカを取付けてください。
- 3.コードリールは使用しないでください。
- 4.たこ足配線は絶対しないでください。
- 5.電源コードは踏みつけしないでください。

4.2.2.庫内冷却について

庫内には冷却空気を循環させるためにファンが付いています。このファンは庫内の貯蔵物を均一に冷却させるためのもので、急冷用ではありません。庫内壁面には冷気が流れるためのすき間を開けてください。



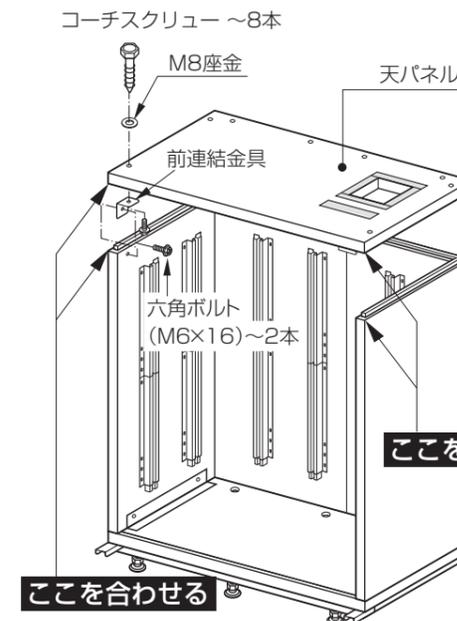
③天パネルの組付

- 横・後パネルの上に(3001・3003タイプ)は天パネル、(6001・6003タイプ)は天パネル(後)・天パネル(前)の順番で乗せます。
- 横パネルと、天パネルに前連結金具を、六角ボルト(M6×16)で固定します。
- 6001・6003タイプの場合は連結金具にて天パネル(前)と(後)を固定します。
- コーチスクリーを締め付けます。

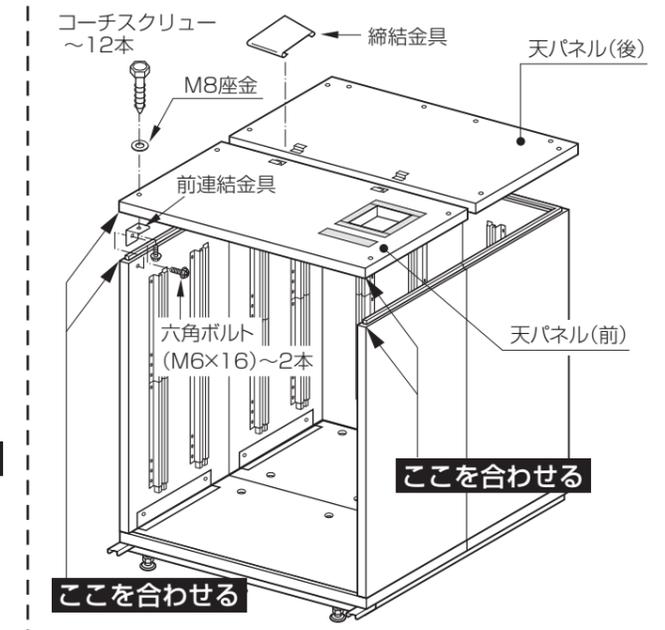
重要

パネル前面部を合わせてから、ネジを本締めしてください。隙間が開き、結露の原因になります。

3001・3003タイプ



6001・6003タイプ



注意

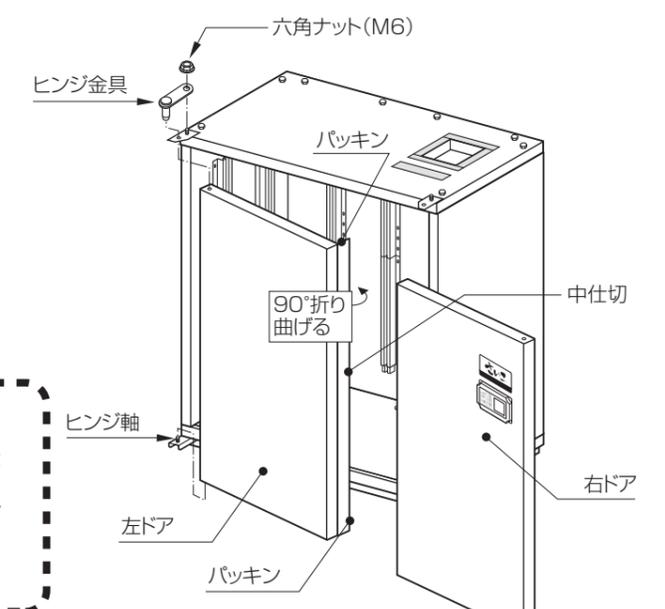
- 本体パネルの接合部にスキマができて直らないときは、透明シリコンコーキング材で埋めてください。
- コーキングした後は、指で押さえてコーキング材をパネルに密着させてください。

④ドアパネルの組付

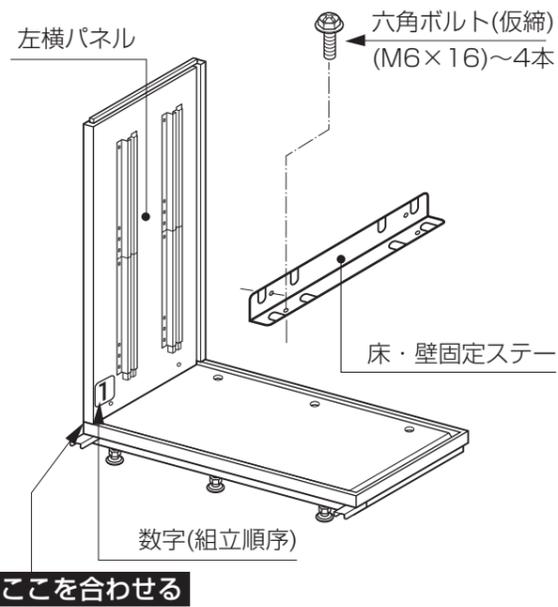
- 左ドアの中仕切をあらかじめ90度折り曲げておきます。
- 左ドアの下部を左側のヒンジ軸にはめます。
- 左ドア上部にヒンジ金具をはめ込み、六角ナット(M6)で固定します。
- 右ドアの下部を右側のヒンジ軸にはめます。
- 右ドア上部にヒンジ金具をはめ込み、六角ナット(M6)で固定します。

注意

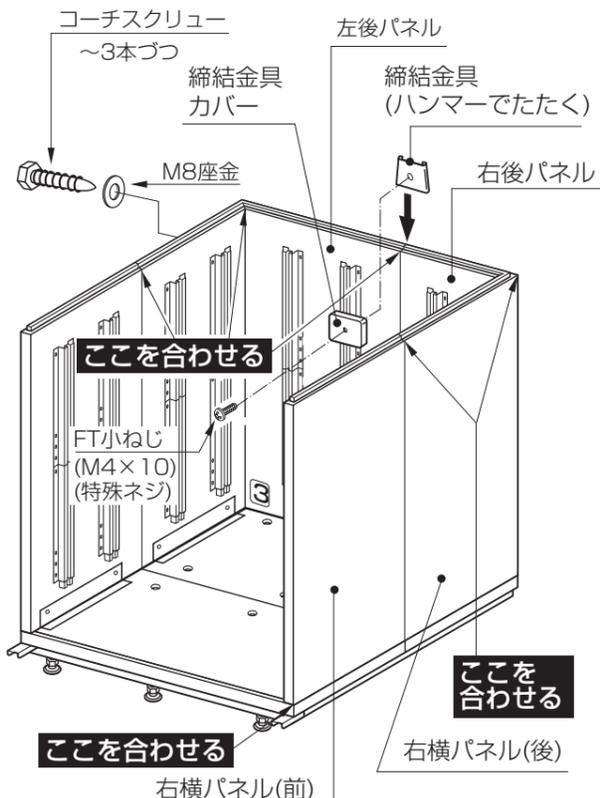
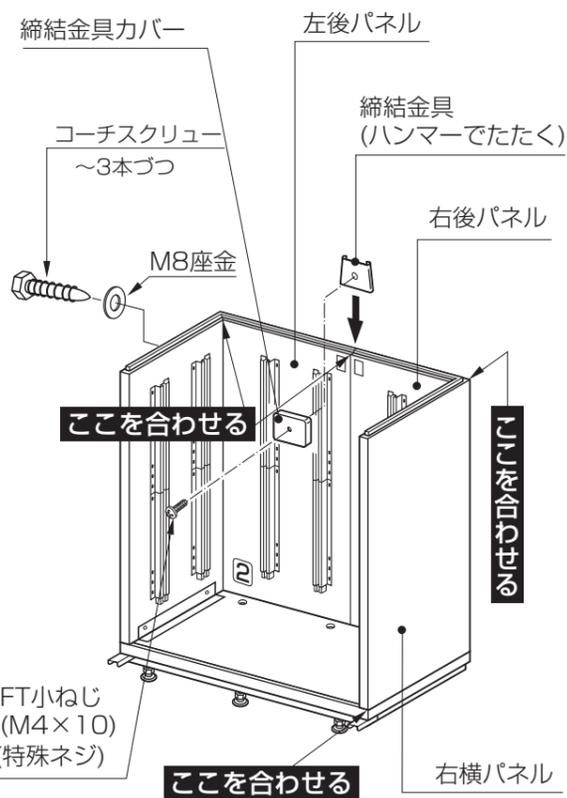
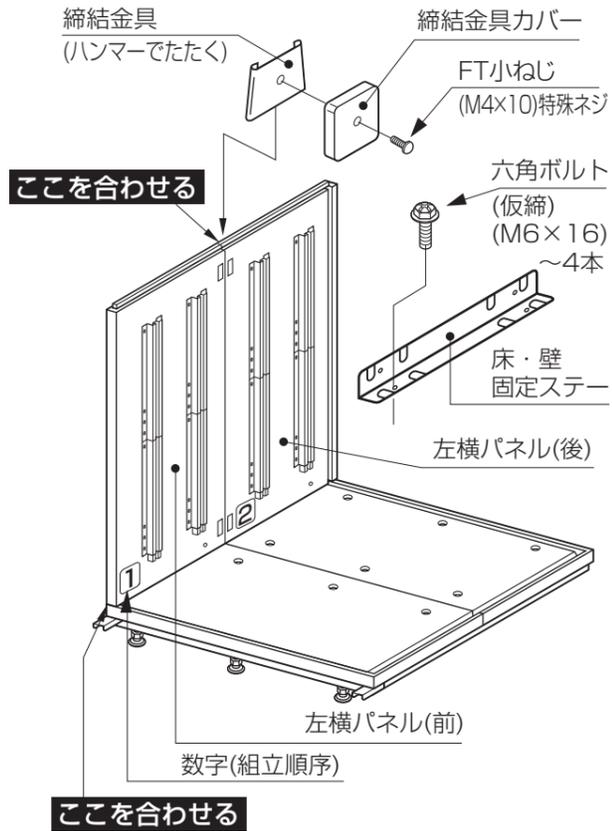
ドアを閉める時、中仕切が天パネル、床パネルのどちらかに当たり閉まりにくい場合があります。中仕切を上下に動かして当たらないようにしてください。(パッキンが当たるのは正常です。)



3001・3003タイプ



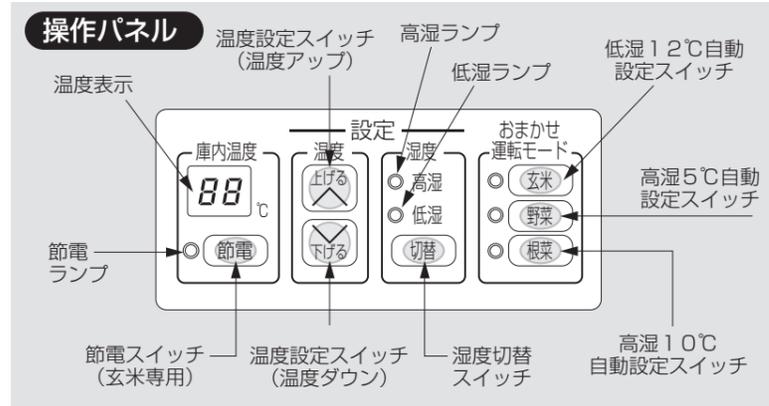
6001・6003タイプ



重要 パネル前面部を合わせてから、ネジを本締めしてください。隙間が開き、結露の原因になります。

4.2.3.庫内温度・庫内湿度の設定と表示について

Yタイプ



庫内温度の設定および庫内湿度の設定は、操作盤にある操作パネルで行います。

おまかせ運転モード

玄米 を押す…
庫内温度は12°Cに設定されます。
庫内湿度は**低湿**に設定されます。
玄米ランプと低湿ランプが点灯します。

野菜 を押す… 庫内温度は5°Cに設定されます。庫内湿度は**高湿**に設定されます。
野菜ランプと高湿ランプが点灯します。

根菜 を押す… 庫内温度は10°Cに設定されます。庫内湿度は**高湿**に設定されます。
根菜ランプと高湿ランプが点灯します。

節電モード

節電 を押す… 庫内温度は14°Cに設定されます。庫内湿度は**低湿**に設定されます。
節電ランプ、玄米ランプ、低湿ランプが点灯します。

手動モード

上げる / **下げる** を押す… 庫内設定温度を上げたいときは **上げる** を押し、

庫内設定温度を下げたいときは **下げる** を押しします。

上げる または **下げる** を押しと温度表示部の数字が点滅します。
点滅している数字が設定温度です。

上げる または **下げる** を押しと **おまかせ運転モード** **節電モード** 設定は自動的に解除されます。

切替 を押す… 庫内湿度が切り換えられます。

切替 を押すたびに高湿と低湿が切り換わり、どちらかのランプが点灯します。
この場合 **おまかせ運転モード** **節電モード** 設定は自動的に解除されます。

操作パネルで、貯蔵する物によって庫内の湿度を切り換えて使用できるようになっています。
下表を参考にして切り換えてください。

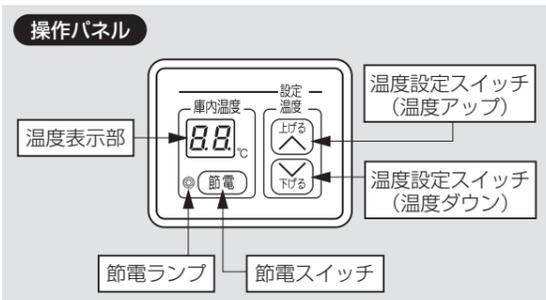
湿度切換	庫内湿度(%)	温度調節	代表的な用途	蒸発器ファンの働き (庫内ファン)
低 湿	55~75	2~20°C	玄米、粉、小麦など	圧縮機が止まると蒸発器ファンが止まる(*) 圧縮機が動くと蒸発器ファンも動く 圧縮機が止まるが蒸発器ファンは動く(霜取り時)
高 湿	70~90	2~20°C	生鮮野菜など	連続して運転する

* 圧縮器停止1分後に5分間蒸発器ファンが動きます。

重要

玄米などの乾燥物と生鮮野菜などを一緒に貯蔵しないでください。
庫内湿度は参考値です。ドアの開閉頻度や、外気の温度、湿度により変化します。
野菜や果物はその貯蔵温度・貯蔵湿度・貯蔵期間をよく確認してから貯蔵してください。
野菜類で収穫から出荷までの一時貯蔵に使用する場合は3日間が限度です。

Gタイプ ※Gタイプでは庫内湿度の切替はできません。



- ・庫内温度は9℃～20℃の範囲で設定できます。(出荷時は12℃に設定されています。)
- ・温度設定の方法については、2通りあります。

通常モードによる方法

- ①「上げる」または「下げる」を押すと、温度表示部に設定温度が点滅表示されます。
- ②温度設定を上げたいときは「上げる」を押します。温度設定を下げたいときは「下げる」を押します。
- ③操作終了後、5秒後に庫内温度が点灯表示されます。

節電モードによる方法

- ①操作パネル内の「節電」を押して節電ランプを点灯させます。
- ②温度設定は「14℃」に固定されます。
- ③「節電」、「上げる」あるいは「下げる」を押すと、節電モードは解除されます。

庫内温度	庫内湿度	用途	蒸発器ファンの動き (庫内ファン)
9℃～20℃	55%～75%	玄米専用	圧縮機が止まると蒸発器ファンが止まる (蒸発器ファンは、圧縮機停止の1分後に30秒～3分間動きます) 圧縮機が動くと蒸発器ファンも動く 圧縮機が止まるが蒸発器ファンは動く (霜取り時)

(庫内湿度は参考値です。ドアの開閉頻度、外気温度・湿度により変化します。)

共通

重要

- 庫内温度は、通常モードの場合は、設定温度に対して±2℃の範囲で制御します。また、節電モードの場合は+2.5～-1の範囲で制御します。
- 表示温度も通常この範囲を表示します。但し、圧縮機保護のため、圧縮機の最低運転時間が3分間となっていますので、一時的に(設定温度-2℃)の範囲をこえることがありますが、異常ではありません。(設定温度と庫外温度の差が少ないときなど)
- 設定温度を15℃以上にする場合、15→H→16→……と表示します。これは玄米保管に適した温度を超えることをお客様に示す為であり、故障ではありません。

4.2.4.霜取りについて

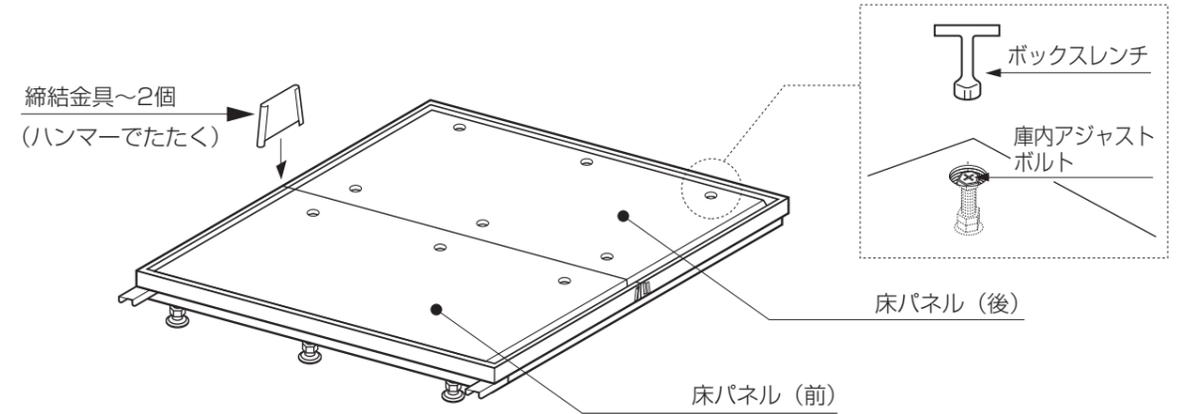
熱交換器(蒸発器)の霜取りは、コンプレッサが停止したとき自動的に行われます。また、2時間ごとに10分程度コンプレッサを停止して霜取りを行います。(蒸発器ファンのみが回ります。)通常の使い方は霜が付くことはありませんが、水気が多く、温度が高い物を多量に入れたときなどに霜が付くことがあります。この場合は、一旦電源プラグを抜き、霜がとけてから電源プラグを入れ直してください。

4.2.5.チェックコード表示とエラーコード表示

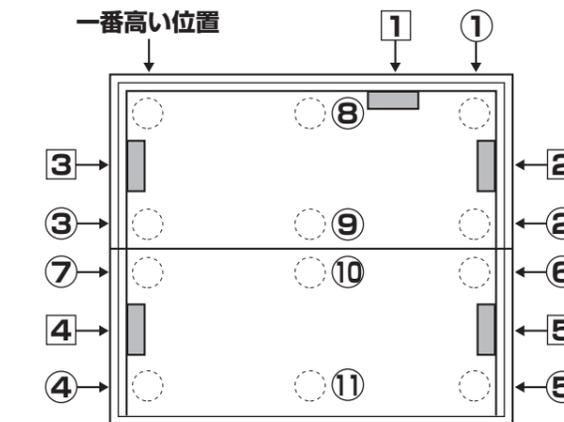
運転中に異常があると温度表示部にチェックコードC1または、温度表示を点滅表示します。(運転を停止します。){⑦困ったときには}を参考に点検してください。故障があると、温度表示部にエラーコードE3～E9を点滅表示します。(運転を停止します。)この場合は部品故障が原因ですので購入先に修理を依頼してください。

●エラーコード・チェックコード一覧

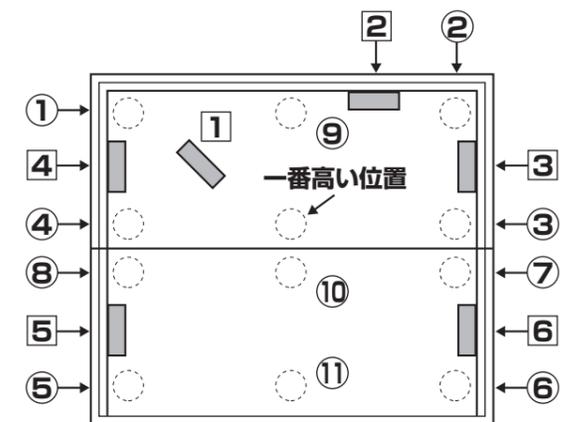
表示	異常内容	対応
E3	庫内温度サーミスタの短絡	部品交換
E4	庫内温度サーミスタの開放	部品交換
E6	オーバーヒートサーミスタの短絡	部品交換
E7	オーバーヒートサーミスタの開放	部品交換
E8	除霜サーミスタの短絡 Yタイプのみ	部品交換
E9	除霜サーミスタの開放 Yタイプのみ	部品交換
C1	オーバーヒートサーミスタ高温	P25参照



●コーナーが高い場合



●中央が高い場合



○ アジャストボルト ■ 水準器 ①を調整する時は、①に水準器を置いてください。

②横・後パネルの組付

注意

- パネルの上端を合わせてから、パネル同士をコーチスクリューで固定してください。
- コーチスクリューは、締めすぎないでください。締めすぎると空回りします。
- パネルに貼り付けてある数字が下側になるように組み付けしてください。

- 床パネルの上に横・後パネルを組み付けます。
- パネル内側の左下隅の数字の順に組み付けます。
- 横パネルは、床・壁固定ステーで床パネルと固定し、倒れないようにします。(仮締め)
- 横パネルと、後パネルは、コーチスクリューで固定します。
- 左後パネルと右後パネルを締結金具で結合します。
- 6001・6003の場合は、横パネル(前)と横パネル(後)も締結金具で結合します。
- 締結金具には締結金具カバーを取り付けます。(3001・3003～2カ所、6001・6003～6カ所)

■パネル組付順序

3001・3003タイプ

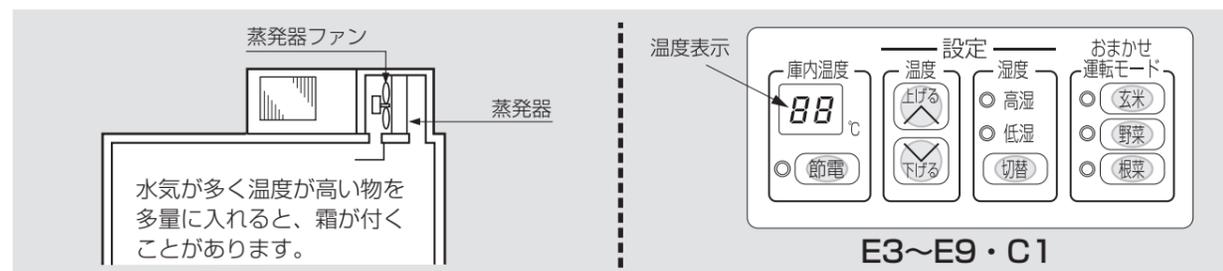
①左横パネル→②左後パネル→③右後パネル→④右横パネル

6001・6003タイプ

①左横パネル(前)→②左横パネル(後)→③左後パネル→④右後パネル→⑤右横パネル(後)→⑥右横パネル(前)

重要

パネル前面部を合わせてから、ネジを本締めしてください。隙間が開き、結露の原因になります。

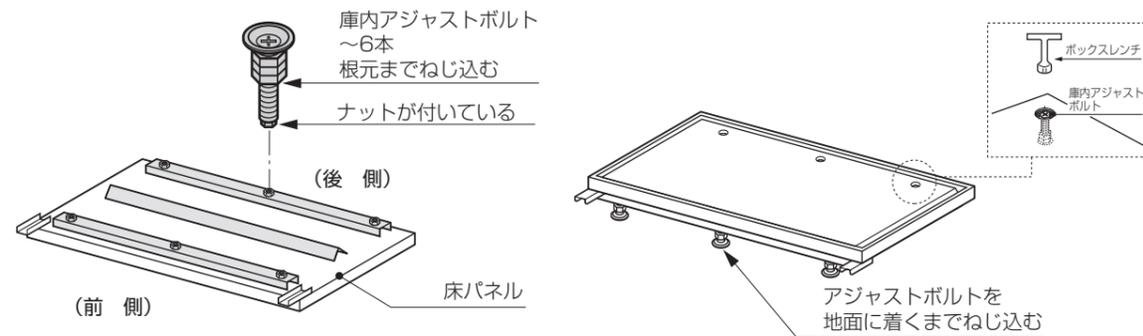


6.2.4.組立手順

①床パネルの設置

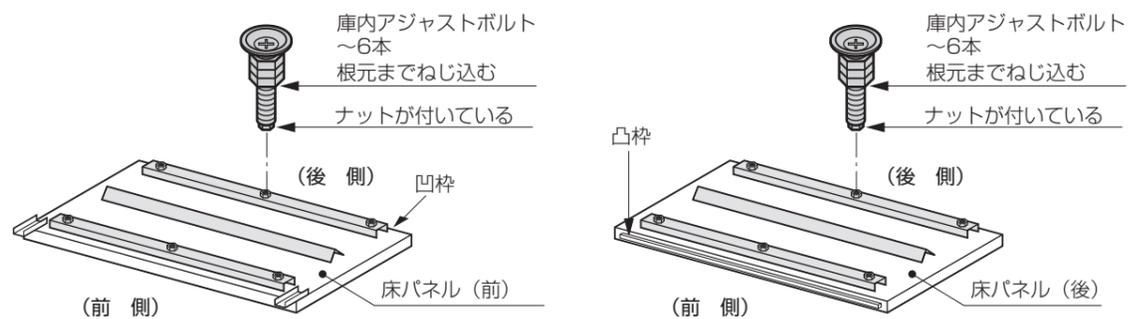
3001・3003タイプ

- 床パネルをウラ側にし、庫内アジャストボルト（6本）をねじ込みます。
アジャストボルトは、根元までねじ込んでください。
- 床パネルを設置し、四隅の（庫内）アジャストボルトを調整してガタをなくします。
この時、水準器を使って、床パネルが水平になっていることを確認してください。
- 前側、後側の中央にある2本の（庫内）アジャストボルトを地面に着くまでねじ込みます。



6001・6003タイプ

- 床パネル（前）をウラ側にし、庫内アジャストボルト（6本）をねじ込みます。
- 床パネル（後）をウラ側にし、庫内アジャストボルト（6本）をねじ込みます。
アジャストボルトは、根元までねじ込んでください。
- 床パネル（後）を設置場所に置き、床パネル（後）の凸枠に、床パネル（前）の凹枠を差し込みます。
- 床パネル（前）、（後）の側面を、締結金具（2個）で仮止めします。
- 水準器を使って、床パネル内の一番高い所を探します。
水準器は、本体の枠部分に置いてください。
- 一番高い位置のアジャストボルトを動かさずに、18ページの順番に水準器を置いて、アジャストボルトを調整します。



重要

- 床パネルは、ガタのないよう、水平に設置してください。
- ガタがあったり、水平がとれていないと、パネル接合部にスキマが生じ、結露することがあります。
- 床パネルの水平がしっかりとれていないと、ドアが本体に密着できなくなり、スキマが生じます。（ドアのパッキン部に結露します。）
- 床パネルを置く床面に、10mm以上の段差がある場合、6.2.1.設置スペースを参照してアジャストボルトの下に、木等を置いて高さを10mm以内に揃えてください。

4.2.6.排水について

Yタイプ

冷蔵ユニットの排水は本体右側の排水ホースから出ます。排水の出る量は、庫内に貯蔵する物、ドアの開閉回数で変わります。また、保冷庫が設置してある場所の換気状態でも変わります。

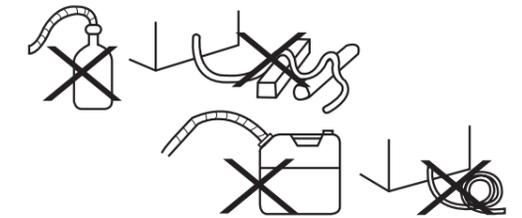
Gタイプ

冷蔵ユニットの排水は、ユニット内で蒸発するようになっていますが、ドアの開閉回数や換気状態で排水が出る場合があります。その場合は水受けで受けてください。

注意

排水ホースを延長して室外に排水する場合は排水ホースをまっすぐに伸ばしてください。排水ホースが曲がっていると庫内に水滴がおちてくる可能性があります。排水ホースの確認をしてください。

【やってはいけない例】



重要

排水が出る場合がありますので次のことをお守りください。

- ドアは確実に閉めてください。
- ドアを頻繁に開閉しないでください。
- 長時間ドアを開ける時は電源プラグをコンセントから抜いてください。

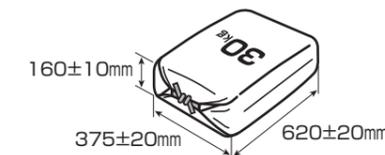
4.2.7.貯蔵品の入れ方について

重要

- ①貯蔵品を庫内に入れるとき、壁面から25mm以上開けて、冷気が庫内をまんべんなく循環するようにしてください。
- ②庫内上部には冷気の吹出し口、戻り口があります。この部分がふさがれると冷却できませんので、50mm以上のすき間を取ってください。
- ③温度が高いものは、外気温度と同じになるまで待ってから入れてください。

●玄米袋の基準寸法について

玄米30kg入紙袋の寸法は、下図の寸法を設定しています。
 ※玄米30kgを入れた時の寸法。



●玄米袋は、平らになるように形を整えて、壁面から30mm以上空けて積み込んでください。

●基準寸法を超えて、膨らんだ形で積み込んだ場合、不安定になり袋が崩れたり、製品設定の最大貯蔵袋数まで積み込めない場合があります。



4.2.8.玄米の貯蔵について

3001・3003タイプは30kgの紙袋で54袋、6001・6003タイプは108袋を貯蔵できます。

- ①3001・3003タイプは6個・9段に、6001・6003タイプは12個・9段に積んでください。
- ②設定温度は15℃以下、庫内湿度は低湿にしてください。
 15℃以下になっていれば虫の発生はありませんし、古米化も防止できます。
- ③玄米を貯蔵するときは、水分の多い品物（野菜・果物など）や香りを発生する品物との同時貯蔵はしないでください。一緒に貯蔵できるものは、封印してあるビール類・飲料水・缶詰などです。
- ④精米を行う場合は袋を庫外に出し、中の玄米が外気温度と同じになってから精米してください。
 夏場は温度差が大きいため12時間以上の時間が必要です。
 玄米が冷えた状態で精米すると、うまく精米できないことがあります。
- ⑤初夏から夏（6～9月）にかけて玄米を取り出す時は、早朝の温度が低いときに取り出すように心がけてください。

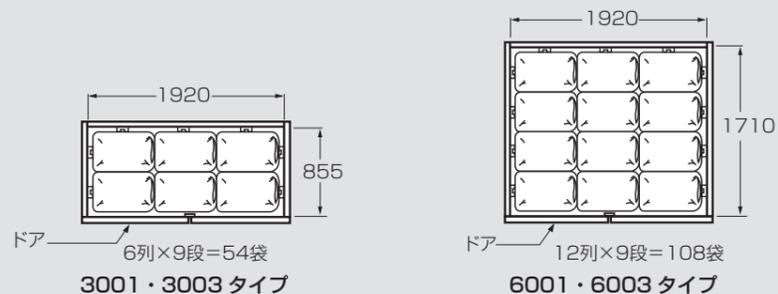
重要

- 貯蔵中の米袋に冷気が直接当たらないようにしてください。
- 必ず、冷気の循環路を確保してください。
- 冷えた玄米を外気にさらすと、表面に露が付き（結露）玄米の表面が白くひび割れを起すことがあります。紙袋の口は開けないでください。精米直前に開封してください。

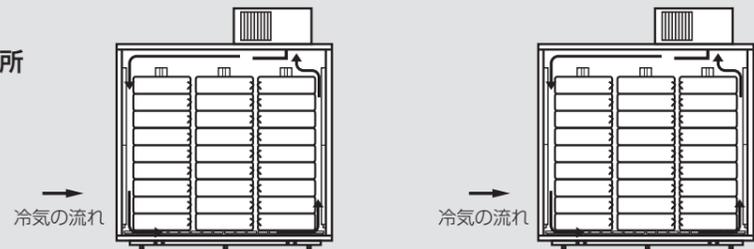
注意

米袋はドアを開けた時、崩れないように後の荷摺り柱にもたれさせるように積んでください。崩れると、カギを掛けた状態でもドアが少し開き、庫内に水滴が落ちてきたり、天パネルに水滴がたまる場合があります。

●上から見た所



●正面から見た所



※玄米30kg（高さ160±10×幅375±20奥行620±20mm）

4.2.9.結露について

著しく高温・高湿の時には、本体全体に結露が生ずることがありますが故障ではありません。やわらかい布で拭き取り、本体周りの風通しをよくしてください。（場合によっては、本体を温度・湿度の低い場所に移動してください。）

4.2.10.ドアの密閉について

ドアは確実に閉めてください。
マグネットパッキンが本体に密着しているか確認してください。
ドアを閉めた直後、すぐにドアを開けようとするとうドアが重くなります。これは、庫内に入った空気が急に冷やされて、庫内の圧力が一時的に庫外より低くなるためです。

重要

ドアがしっかり閉まっていないと庫内に露が付き、お米がカビることがあります。また、天パネルに水滴がたまる場合があります。

注意

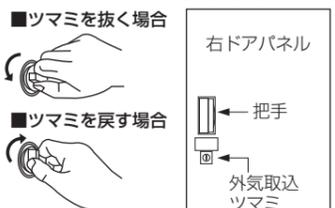
設置状況や、使用状況によりドアパッキンが硬化などして交換が必要になる場合があります。

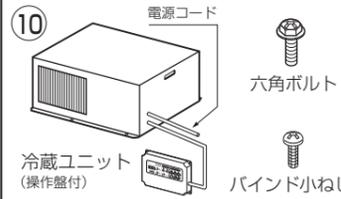
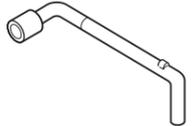
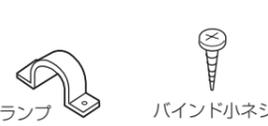
注意

1. ドアは反対側のドアを押えながら取手を持って閉めてください。ドアに指などをはさんでケガをすることがあります。
2. ドアの回転側に手や指などを入れていないことを確認してから、ドアを開けてください。
3. ドアは勢いよく閉めないでください。反対側のドアが開く場合があります。
4. ドアを閉じる時中仕切が正しい位置にあることを確認してください。誤った位置で無理に閉めようすると、中仕切が破損することがあります。
5. 短い時間（間隔）で開閉すると、機械が故障する可能性があります。

外気取込ツマミについて

- ドアを開けた後、すぐにドアを開けようとするとうドアが重くなり、開かないことがあります。これは、庫内に入った空気が急に冷やされて庫内の圧力が一時的に庫外より低くなるためです。
- ツマミを抜くと外気が取り込まれてドアが軽くなり開くようになります。
- ツマミは必ず通常位置（垂直）になるように戻してください。ツマミがしっかり閉まっていないと庫内が冷えなくなり結露が発生します。



	品名	使用個数							
		GB3001Y	GB3003Y	GB3001G	GB3003G	GB6001Y	GB6003Y	GB6001G	GB6003G
⑩ 	冷蔵ユニット	1	1	1	1	1	1	1	1
	六角ボルト (M6×16)	4	4	4	4	4	4	4	4
	バンド小ネジ (M4×12)	4	4	4	4	4	4	4	4
⑪ 	アース線	1	—	1	—	1	—	1	—
⑫ 	風向板	1	1	1	1	1	1	1	1
	バンド小ネジ (M4×12とがり先)	4	4	4	4	4	4	4	4
⑬ 	エルボ付排水パイプ	1	1	—	—	1	1	—	—
⑭ 	パイプサドル	1	1	—	—	1	1	—	—
	バンド小ネジ (M4×12とがり先)	2	2	—	—	2	2	—	—
⑮ 	水受け	1	1	1	1	1	1	1	1
⑯ 	排水ホース (L: 4m)	1	1	1	1	1	1	1	1
⑰ 	クランプ	3	3	4	4	3	3	4	4
	バンド小ネジ (M4×12とがり先)	6	6	8	8	6	6	8	8
⑱ 	コードクランプ	5	5	7	7	5	5	7	7
	バンド小ネジ (M4×12とがり先)	5	5	7	7	5	5	7	7
⑲ 	キー	2	2	2	2	2	2	2	2
⑳ 	ヒンジ金具	2	2	2	2	2	2	2	2
	六角ナット (M6)	2	2	2	2	2	2	2	2

※バンド小ネジ (M4×12とがり先) は、最大使用個数分 (21個) が付属されています。
※クランプは、最大使用個数分 (4個) が付属されています。
※コードクランプは、最大使用個数分 (7個) が付属されています。

6.2.2.組立・設置に必要な工具類

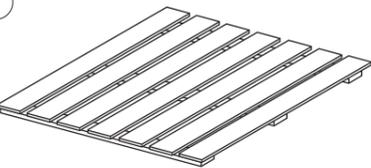
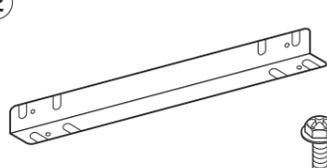
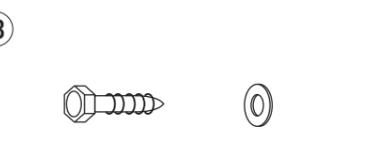
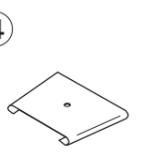
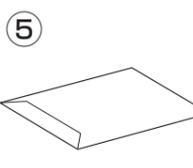
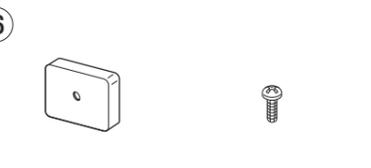
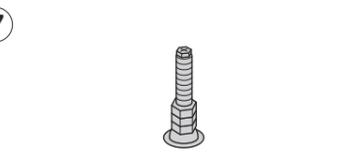
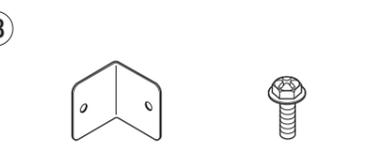
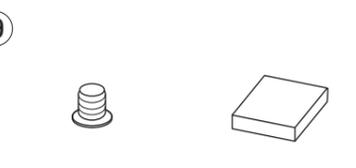
必要な工具類を準備してください。

		3001・3003・6001・6003タイプ	
ボックスレンチ	10mm		○
スパナ	10mm		○
	13mm		○
	24mm		○
⊕ドライバー	大		○
	中		○
ハンマー			○
脚立			○
ヘルメット・安全靴・手袋			○
水準器 (150mm以上)			○

6.2.3.梱包部品の確認

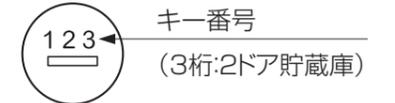
部品が揃っていることを確認してください。

■付属品

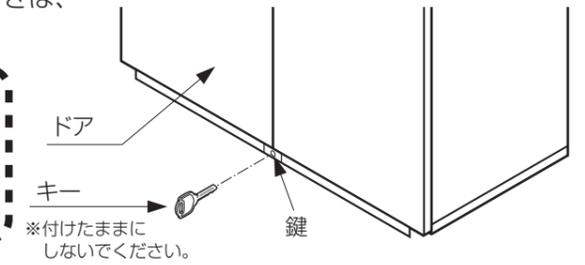
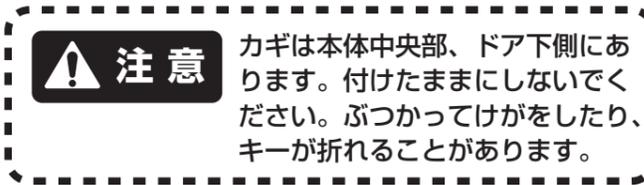
①  すのこ	②  床・壁固定ステー 六角ボルト (M6×16)	
③  コーチスクリュー M8座金 (外径φ26)	④  締結金具	⑤  取扱説明書
⑥  締結金具カバー FT小ねじ (M4×10) (ネジ部が六角形状の特殊ネジです)	⑦  庫内アジャストボルト (ボルトの先端に ナットが付いています)	
⑧  前連結金具 六角ボルト (M6×16)	⑨  ADJプラグ ADJ断熱シート	

4.2.11.カギについて

貯蔵品の出し入れが終わったら必ずカギをかけてください。カギをかけるときは中に人がいないことを確認してください。キーは2個ありますので別々に保管すると紛失したときに安心です。2個とも紛失して注文するときは、本体のキーの番号を連絡してください。



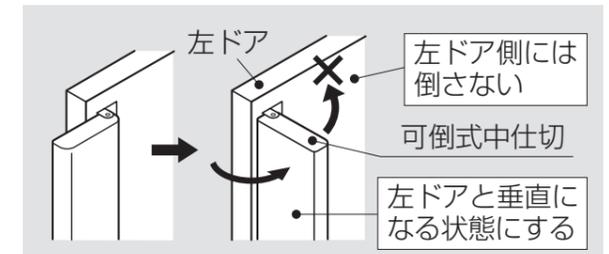
※実際のキー番号とは異なります。



4.2.12.可倒式中仕切について

左ドアに可倒式中仕切がついていますが、左ドアと平行になる状態で左ドアを閉めると右ドアに当たります。垂直になる状態にしてから閉めてください。

可倒式中仕切を垂直な状態から左ドア側には倒さないでください。また、無理な力を掛けないようにしてください。



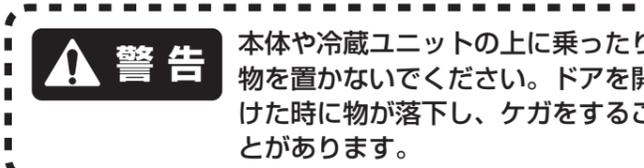
5 点検と掃除と廃棄

この章では、機械の点検箇所と方法、掃除箇所と方法および廃棄について説明しています。

5.1.点検箇所と方法

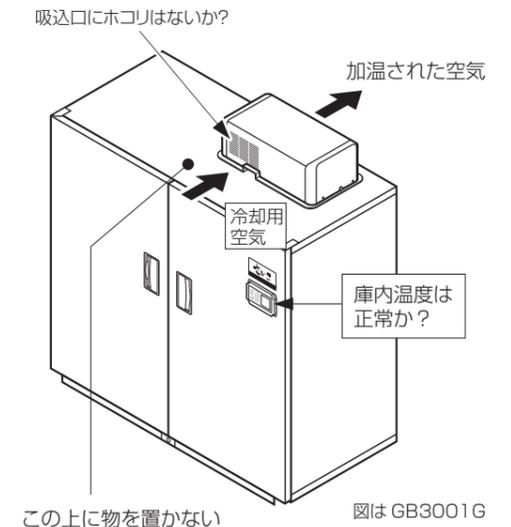
5.1.1.庫内温度の点検

●温度表示で庫内温度を確認してください。



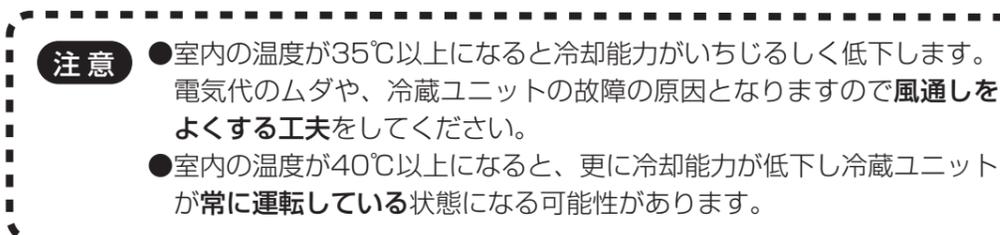
5.1.2.吸込口の点検

●冷蔵ユニットの前面、後面には物を置かないでください。
●吸込口にホコリがついていないか確認してください。冷却用空気が吸込口を通過しています。ここがふさがれますと、冷却能力が下がり、庫内が冷えなくなります。また冷蔵ユニットの寿命を短くしますので注意してください。

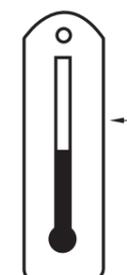


5.1.3.設置場所室温の点検

室内の温度が35℃以下であることを確認してください。

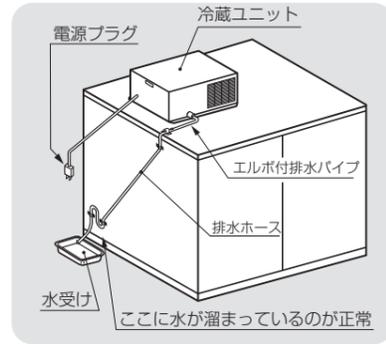


部屋の温度は35℃以下



5.1.4.排水の点検 **Yタイプ**

- エルボ付排水パイプ・排水ホースは冷蔵ユニットに接続され、先端まで詰まらずに水が流れて行くか確認してください。
エルボ付排水パイプ・排水ホースがしっかり差し込まれていることを確認してください。本体右側のS字形の曲がりには、わざと水が溜まるようになっています。U字の部分には水が溜まっているのが正常です。「水受け」に溜まった排水はこまめに捨ててください。
- Gタイプでも使用状況により水が出ることがあります。「水受け」に溜まった排水はこまめに捨ててください。



5.1.5.長期間使用しないとき

- 電源プラグを抜き、ドアを開いて、庫内を乾燥させてください。

警告 冷蔵ユニットの内部に指や棒、針金等を入れないでください。
冷気の吹き出し口、戻り口に手を入れないでください。感電やケガをすることがあります。

5.1.6.簡易点検について

- フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)が施行され第一種特定製品(低温貯蔵庫も含む)の管理者(所有者など)には機器及びフロン類の適切な管理が義務づけられています。
低温貯蔵庫の管理者(使用者など)には機器の管理、点検や修理の実施状況などを記録する必要があります。工具等を使用することなく、異常音や油の漏れや冷却の状況などを、確認する簡易点検を実施していただくこととなります。(特別な業者に依頼する必要はありません)
簡易点検は3ヶ月に1回以上となり、実施後は簡易点検記録表に点検の内容を記入してください。

重要

簡易点検記録表は貯蔵庫を廃棄した後も3年間保管してください。

5.2.掃除箇所と方法

5.2.1.吸込口の掃除

- ①電源プラグを抜いて運転を停止します。
- ②掃除機と柔らかい毛のブラシを用意して吸入口、及びフィンに付着したホコリを取り除きます。

警告 1.内部のフィンに素手でさわらないでください。
2.水はかけないでください。

注意 1.内部のフィンを曲げないようにやさしく扱ってください。
2.刃物や先の鋭いものを使わないでください。フィンや凝縮器が破損することがあります。

5.2.2.ドアや庫内の掃除

- ①電源プラグを抜いて、運転を停止します。
- ②洗剤を使う場合は、薄めた中性洗剤を柔らかい布かスポンジに含ませて拭いてください。
次に、洗剤が残らないよう、水拭きしてください。水をかけて洗わないでください。
- ③カビが見られるときは、消毒用エチルアルコールをスプレーすると効果があります。アルコールの臭いがなくなるまでドアを開けておいてください。

警告 1.消毒用エチルアルコール以外の溶剤(例えばベンジンやシンナーなど)や酸性やアルカリ性の洗剤(風呂用洗剤など)は絶対に使わないでください。
2.冷蔵ユニットには直接水をかけないでください。漏電や故障の原因になります。

5.3.貯蔵庫の廃棄について

- 長年お使いいただいた後、廃棄される場合は、必ずドアと冷蔵ユニットをはずし、本体と別にしてください。
- 廃棄は廃棄物処理法により適正に処理してください。
(不法投棄は絶対にしないでください。廃棄物処理法により罰せられます。)
- 地域により廃棄方法や区分が異なることがあります。
詳しくは、各市町村の廃棄担当部署にご確認の上、処理をしてください。
- 廃棄には費用がかかりますので、ご負担をお願い致します。
冷媒の回収は第一種フロン類充てん回収業者に依頼されるか、ご購入先に相談してください。
※フロン類の回収には費用がかかりますので、ご負担をお願い致します。
- 充てん回収業者がフロン類を回収した際に発行される引取証明書(原本)は3年間保管してください。
- 廃棄物・リサイクル業者に機器を引渡す際には引取証明書の写しを作成し、機器と一緒に渡してください。

警告 1.ドアをはずしていないと、子供が閉じ込められて事故の原因になります。
2.子供が遊ぶ場所に放置しないでください。

重要

- 地球環境保護のため、次の事が法律で決められていますので必ず守ってください。
1.この製品に封入されている冷媒をみだりに大気中に放出しないでください。
2.この製品の廃棄・整備時は、封入されている冷媒を回収してください。
フロン類の回収を行っていない機器の引き取り等は禁止されています。

- この製品に使用しているフロンは下の通りです。

機種	冷媒の種類と量
GB3001G・6001G	HFC-134a、130g
GB3003G・6003G	HFC-134a、225g

機種	冷媒の種類と量
GB3001Y・6001Y	HFC-134a、315g
GB3003Y・6003Y	HFC-134a、315g

6 組立要領

この章では、機械の組立について説明しています。

6.1.組立の前に

重要

- 組立作業は専門の作業者が行ってください。誤った作業をすると感電・火災・ケガ・故障の原因になります。
- 作業に適した服装と靴で作業してください。
- 体調が良くない、フラフラするなど健康に異常がある時は作業しないでください。
思わぬ作業ミスやケガの恐れがあります。
- 連携作業は、足元を確認した上で声を掛け合って行ってください。
- 本体上部での作業(冷蔵ユニットの取付)はしっかりした足場を用意し、足元を十分に確認してから行ってください。
- 必要な工具を準備してください。
- 必要な部品が揃っていることを確認してください。

6.2.組立の手順

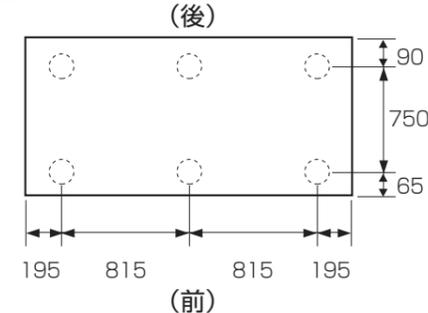
6.2.1.設置スペース

設置スペースを確保してください。

重要

- 1.本体の周囲には、左右500mm、後面100mm、上面300mm以上のスペースを取ってください。
- 2.設置場所は平らな所で、しっかりしている床面(コンクリート床)に設置してください。
アジャストボルトには、最大で400kgの荷重がかかります。床面がしっかりしていないと、貯蔵物の重量により本体の水平がくずれます。
本体の水平がくずれると、庫内に水滴が落ちてくる可能性があります。
- 3.直射日光が本体に当たらないようにしてください。
(電気の消費が増すと同時に冷蔵ユニットのコンプレッサーに無理がかかります。)
- 4.換気ができる所に設置してください。
(電気の消費が増すと同時に冷蔵ユニットのコンプレッサーに無理がかかります。)
- 5.設置後、リフト等で本体を移動させないでください。本体が変形することがあります。

●アジャストボルトの位置 3001・3003タイプ



○=アジャストボルト

6001・6003タイプ

